

りつめい

題字・末川 博名誉総長

R Alumni

立命館大学校友会

立命館大学校友会報

NO.
248

2012
APRIL

巻頭集

立命館の
生と死のケアを考える
サテライトキャンパス特集



Brilliance
輝くひと
80

専門書だからこそ、
素朴な「わからない」を大切に
仏教書出版社「法蔵館」編集長
戸城三千代さん（96 院文博前）

03 巻頭特集 立命館の サテライトキャンパス特集



SPECIAL

01 輝くひと

戸城三千代 さん

08 RITSUMEI INTERVIEW

中村外二工務店代表 数奇屋建築棟梁
中村義明 さん



12 校友会ネットワーク

13 校友NEWS

オール立命館校友大会2012in新潟のご案内

14 震災関連記事

被災地からのメッセージ 米田公男 さん・純子 さん
立命館大学校友会東日本大震災義援金について

16 ビジネスパーソンインタビュー

北九州銀行頭取 加藤敏雄 さん



18 都道府県校友会・学部校友会連絡先一覧

20 立命館はご卒業後もあなたのそばに

22 立命館のゼミナール訪問

国際関係学部 星野ゼミ
経営学部 守ゼミ

24 学生イベント&スポーツ

26 キャンパストピックス

29 +Rな人

岡坂 遼さん

30 INFORMATION

31 編集室から



専門書だからこそ、 素朴な「わからない」を大切に

東本願寺（真宗本廟）の門前町。路地の一角に、仏教書出版社「法蔵館」は佇む。創業400年。真宗大谷派を中心に経典から学術書まで、宗派にとらわれず幅広い書籍を発行する。伝統ある同社のリーダーとして新しい風を運び込もうとしているのが、編集長の戸城三千代さんだ。

学生時代は日本文学を専攻し、ドクターまで進んだが「どうしても論文がまとめきれず」中退。必死になって働き口を探していた時、かつてアルバイトで冊子の編集をした法蔵館を思い出した。「仕事を求めてあらゆる所へ手紙を書いた中で、たまたま返事をくれたのが法蔵館」。仏教に関してもまったくの素人だったが、「勉強になって、ものづくりの楽しさもあって。この仕事が面白くてしょうがなくなりました」。

「絶対に良い本になりますから」。初めての企画は、出版を渋る当時の編集長を半年がかりで説得して、3年かけて完成させた。学術書としては同社では異例の2,000部を刊行し、すべて売り切った。「嫌われようが怒られようが、良い本を作る」。

法蔵館の長い歴史で初の女性編集長。「僧侶の世界は男社会。編集長なんて私には無理だと思った。でも、関連業界で働く女性たちに相談すると『女性だからこそ越えられるものがあるんだ』と叱咤激励されて。そんな周囲の励ましに乗ってやってみたら、たしかに女性だからこそやりやすかった(笑)」。

専門書の編集者だからこそ「わからない」という視点を大切にする。「本はいろんな人が知識を広げるためにあるべき。そのために編集者は様々な読者層を的確に想定し、出版意義をどう伝えられるかを考え、10年、20年先の読者まで背負っているつもりで著者に立ち向かわなければならない」。寺ばなれが進む今、仏教書の果たす役割の大きさを感じている。「背伸びせず、文化の基盤部分を確実に、間違いのないものづくりをしていく。一方で、それを元に最新の発信を意識し続けたい。これらを守ってきたからこそ今ある信用を築くことができた。この信用を法蔵館の文化遺産として守っていきたい」。

巻頭
特集

立命館の

サ テ ラ イ ト

キ ャ ン パ ス

特 集



OSAKA

東京・大阪、東西のビジネスの中心地に立命館の

「サテライトキャンパス」があるのをご存じですか？

サテライトキャンパスでは、学生の就職活動支援のほか、

校友の皆様にぜひ利用していただきたい公開講座など、多様な業務を行なっています。

母校のもう一つの学び舎、

「立命館大阪キャンパス」、「立命館東京キャンパス」をご紹介します。



TOKYO

2015年、茨木新キャンパス開設！

立命館大学は、2015年4月、大阪府茨木市に新キャンパスの開設を予定しています。新キャンパスに移転することが決まったのは、経営学部、政策科学部、経営学研究科、政策科学研究科ならびに、経営管理研究科、テクノロジー・マネジメント研究科。経営管理研究科、テクノロジー・マネジメント研究科では、既存キャンパスにおける一部科目開講も視野に入れながら、移転に向けて教育研究の発展に努めていきます。

立命館大学では、衣笠、びわこ・くさつ、朱雀の既存キャンパスを含めた全キャンパスにおける教育・研究の質向上を掲げ、今後も引き続きその豊富化、具体化にいっそう取り組み、キャンパス創造の全体像をつくりあげていきます。



東西二つのサテライトキャンパス

東京キャンパスは、日本を代表する企業の本社が集まる丸の内の、JR東京駅日本橋口出口に直結するサビアタワー8階にあります。1999年、立命館東京オフィスが開設。2007年、現在の場所に立命館東京キャンパスが開設されました。そして今年1月、首都圏における学生支援の拠点として機能を高めるため、**東京オフィスが東京キャンパスに移転・統合**されてリニューアルオープン。新しくできた学生フロアは、更衣室や荷物預かりも完備され、より便利になりました。フロアの大きな窓からは、国指定の重要文化財にもなっている赤レンガ造りの東京駅駅舎が一望できます。

大阪キャンパスは、昨年オープンした駅ビルでにぎわうJR大阪駅から徒歩5分の大阪富国生命ビル5階にあります。1995年、立命館大阪オフィスが発足。2011年より新たに立命館大阪キャンパスとしてスタートしました。大阪キャンパスのある大阪富国生命ビルは空へと伸びる巨木をイメージしており、どの方角からでも一目でわかる個性的な外観で、周辺のランドマーク的存在になっています。ビルの近くにはJRのほか、阪急、阪神や、地下鉄谷町線・御堂筋線と五つの線が乗り入れており、いずれの駅からも徒歩5分以内という好立地。利用者の数は、移転前の1・5倍以上になりました。

サテライトキャンパスの業務とは？

サテライトキャンパスの業務の柱となっているのが、学生の就職活動支援。都心での就職活動が中心となる傾向にしたがって、その役割は年々大きくなっています。サテライトキャンパスでは、自習スペースや、インターネット端末、就職関連資料等の閲覧が自由に利用できるほか、コピーサービス（有料）や履歴書の販売、また、スタッフによる個別の就職相談や模擬面接なども行なっており（大阪キャンパスは就活時期のみ）、学生や卒業生の就職活動を支援するシステムが整えられています。大阪キャンパスでは「OB訪問会」も実施。東京キャンパスではフロアに求人情報コーナーが設けられており、校友が求人情報を持って来ることもあるそうです。「ここへ来ればほっとできるように」と訪れる学生を温かく迎えています。

また、大阪キャンパスは、学生支援の拠点以外にも、経営管理研究科・ビジネススクール（MBA）、テクノロジー・マネジメント研究科（MOT）、言語教育情報研究科、法務研究科といった社会人大学院としての顔も併せ持っています。



▲スタッフによる就職相談

校友にオススメ公開講座

校友のみなさんにぜひ利用してもらいたいのが公開講座。校友に限らず一般の方も利用することができます。立命館の知的財産を社会に還元していくことをコンセプトとし、学内だけでなく学外からも様々な分野の専門家を招く各講座は、立命館ならではの学びの場を提供しています。

新しい試みとして、昨年、両サテライトキャンパスを中継でつないだ公開講座が実施されました。その一つ、大阪大学21世紀懐徳堂、立命館大学文学部と共催の「大阪・京都文化講座」は、関西という土地の特色を活かした多彩な内容で、地元大阪のみならず母校の地に関心が高い東京でも大変人気を博しました。また、もう一つのサテライト講座「先端を駆けるリーダーたちの『挑戦』」では、毎回各界で活躍するビジネスリーダーが講師を務め、「ビジネスの今」を語りかける内容に、20代から50代の現役ビジネスパーソンからたくさんの方が参加がありました。

そのほか、東京キャンパスでは、京都創生PR事業として京都市と連携で講座を実施。大阪キャンパスでは、安斎育郎立命館大学名誉教授や木津川計元立命館大学教授など、講師の魅力にあふれた連続講座を毎年開講しています。「茨木キャンパスの開設も見据えて、父母層に訴えかける講座を（大阪キャンパス）」と、今後も各キャンパスが提供する新たな講座に注目です。



▲リニューアルした
東京キャンパス学生フロア

校友会活動支援も

サテライトキャンパスでは校友会活動の支援業務を行ない、校友会主催の講演会やイベントも活発に開催されています。大阪校友会では、経済人、企業人、文化人校友による講演会と懇親会を行なう「大阪立命塾」が年4回開かれています。「普段聴くことができない先輩校友の話を聴くことができる」と好評です（「大阪立命塾」の詳細は大阪校友会HPへ。<http://alumni.ritsumeijp/osaka/>）。東京キャンパスでは東京校友会主催の「女性セミナー」などが企画されており、先日はシンクロスイマーの武田美保さんを迎えた講演会がありました（P.13に関連記事）。これからますます増えるであろう首都圏で活動する校友のために、校友会活動の支援により一層取り組みます。



▲女性セミナー



▲大阪立命塾

「知」の情報発信を続けるサテライトキャンパスから、立命館の新しい顔が見えてくるかもしれません。

DATA

立命館大阪キャンパス OSAKA

〒530-0018
大阪市北区小松原町2-4
大阪富国生命ビル5階
TEL 06-6360-4895
FAX 06-6360-4894
URL http://www.ritsumeijp/osaka_office/index_j.html
開室時間 平日9:00-22:00
土曜日8:30-21:30
日曜日8:30-18:00

※祝日・大学が定める休日、年末年始・夏期休業期間を除く。時間変更や、休日の開室を行うことがあります。詳しくは上記HPよりご確認ください。



アクセス方法

- 地下鉄谷町線 東梅田駅 北東改札口より徒歩1分
- 地下鉄御堂筋線 梅田駅 南改札口より徒歩3分
- 阪神 梅田駅 東改札口より徒歩3分
- JR 大阪駅 南口より徒歩5分
- 阪急 梅田駅 2階中央改札口より徒歩5分

立命館東京キャンパス TOKYO

〒100-0005
東京都千代田区丸の内1-7-12
サビアタワー8階
TEL 03-5224-8188
FAX 03-5224-8189
URL http://www.ritsumeijp/tokyocampus/index_j.html
開室時間 総合受付フロアE 平日9:30-17:00
学生受付フロアB 平日9:30-17:30
土・日、祝日9:30-17:00

※祝日、年末年始・夏期休業期間を除く。詳しくは上記HPよりご確認ください。



アクセス方法

- JR 東京駅 日本橋出口直結 徒歩1分
- 地下鉄 大手町駅 B7出口直結 徒歩1分
- 地下鉄 日本橋駅 徒歩10分

立命館大阪キャンパス主催 2012年度 公開講座のご案内

大阪・京都文化講座（前期）

「哲学・思想の宇宙をめぐる－大阪・京都の思索の系譜」

大阪大学 21世紀懐徳堂・立命館大学文学部・立命館大阪オフィス 共催

コーディネーター：永田 靖（大阪大学大学院 文学研究科 教授）、桂島 宣弘（立命館大学 文学部 教授）

開催日			講師名		講演タイトル
1	5月8日	火	大阪大学 文学研究科 教授	湯浅 邦弘	大阪の知的風土―「懐徳堂」―
2	5月22日	火	立命館大学 文学部 特任教授	日下部吉信	京都の哲学者・西田幾多郎とギリシア哲学
3	5月29日	火	大阪大学 人間科学研究科 教授	檜垣 立哉	賭けの思考 九鬼周造の偶然論を巡って
4	6月5日	火	立命館大学 文学部 教授	加國 尚志	立命館と自然の哲学
5	6月12日	火	大阪大学 文学研究科 教授	中岡 成文	くらしの中の哲学－京都学派のサロンと散歩道
6	6月19日	火	立命館大学 文学部 教授（4月～名誉教授）	服部 健二	西田幾多郎と「左派」の人たち
7	6月26日	火	（財）懐徳堂記念会 研究員	池田 光子	大坂学校の挑戦－半官半民の学問所－
8	7月3日	火	立命館大学 文学部 教授	桂島 宣弘	近世の学問都市 京都

受講料：1回2,000円（全8回一括申し込みの場合、14,000円）

木津川 計 先生

（元立命館大学教授、『上方芸能』発行人）



「優しさとしての大阪文化」

開催日			講演タイトル
1	4月27日	金	“帝塚山派”の文学① ～庄野英二・潤三・阪田寛夫、長沖一の文学～
2	6月22日	金	“帝塚山派”の文学② ～藤沢桓夫・杉山平一、以倉紘平の文学～
3	8月3日	金	笑いの平和主義～秋田実と藤山寛美の世界～
4	10月26日	金	理想主義と人間愛 ～手塚治虫と山田洋次の世界～
5	12月14日	金	たおやかで一筋な道 ～森南海子と岡部伊都子のこころ～
6	2013年 2月22日	金	弱者の眼の批評精神～マルセ太郎の光芒～

受講料：1回1,500円（全6回一括申し込みの場合、7,500円）

安斎 育郎 先生

（立命館大学名誉教授、安斎科学・平和事務所所長）



「眩々吼々（けんけんこうこう）」

開催日			講演タイトル
1	5月15日	火	「青春七五三の日」－放射能を学ぶ① 原子と阿弥陀様の意外な関係？
2	7月10日	火	「潤滑油の日」－放射能を学ぶ② 放射能とはホタルのことと見つけたり？
3	9月11日	火	「公衆電話の日」－放射能を学ぶ③ 自転車と乗用車と重戦車
4	11月20日	火	「はやぶさ不時着の日」－放射能を学ぶ④ カリウム40の半減期は12億5千万年
5	2013年 1月22日	火	「カレーライスの日」－放射能を学ぶ⑤ 遮蔽・距離・時間の放射線防護3原則
6	2013年 3月12日	火	「財布の日」－放射能を学ぶ⑥ 私たちの生活と放射線のリスク

受講料：1回1,500円（全6回一括申し込みの場合、7,500円）

いずれの講座も

会 場：立命館大阪キャンパス

時 間：14:00～15:40（講演90分、質疑応答10分）

定 員：98名（定員になり次第締め切らせていただきます。あらかじめご了承ください）

問い合わせ先：立命館大阪オフィス TEL：06-6360-4895

※事情により、やむを得ず、日程・テーマ・講演者等が変更になる場合がございます。

詳しくは立命館大阪キャンパスHPを
ご覧ください。
[http://www.ritsumei.jp/osaka_office/
index_j.html](http://www.ritsumei.jp/osaka_office/index_j.html)

立命館東京キャンパス 2012年度 公開講座のご案内

立命館孔子学院東京学堂 中国語講座

立命館孔子学院 主催

少人数のクラスで、入門編から準上級まで実践的なスキルを身につける中国語講座です。毎週火曜日～金曜日の18:30～20:00に開講。曜日によってクラスは異なりますので、ご注意ください。

受講料：一般 27,000円

学生（立命館）15,000円

学生（立命館以外）21,000円

立命館関係者（教職員（現・元）・卒業生）21,000円

講座名	講師名	開講期間	曜 日	時 間
入門 A	榎本 英雄	4/11～7/18	水	18:30～20:00
入門 B	榎本 英雄	4/12～7/26	木	18:30～20:00
初級 I	顧 銘	4/11～7/18	水	18:30～20:00
初級 II	洪 潔清	4/10～7/17	火	18:30～20:00
準中級	洪 潔清	4/11～7/18	水	18:30～20:00
中 級	李 振溪	4/12～7/26	木	18:30～20:00
準上級	顧 銘	4/ 6～7/20	金	18:30～20:00

医療経営講座

立命館大学医療経営研究センター 主催 / 講師陣：齋藤 清一（立命館大学客員教授、医療経営研究センター副センター長）他

病院における人事管理、労務管理の概要をトータルで学ぶベーシックコースとその内容をさらに実務で展開できるようにするためのアドバンスコースを開講します。またさらに専門的に深く学び、実際に制度を動かし運用するコースとして、分野別に実務講座を用意しております。

受講料：25,000円～315,000円

詳細はHPへ。

講座名	開講期間	曜 日	時 間
トータル人事システム講座			
人事管理・労務管理ベーシックコース	5/26～11/24	土	土曜日：10:00～16:00
人事管理・労務管理アドバンスコース	8/31～2/16	金、土	金曜日：13:00～17:00 土曜日：9:30～16:30
実務講座・訓練講座			
医療現場の人事労務の問題 Q&A	5/19	土	土曜日：10:00～16:00
人事考課者訓練、コンピテンシー評価者訓練講座	9/29	土	土曜日：10:00～16:00
グループ、個人目標面接訓練講座	10/6	土	土曜日：10:00～16:00
リーダーシップ、コミュニケーション訓練講座	2/23	土	土曜日：10:00～16:00
介護経営管理者講座	5月以降開講予定		

「金融と法」東京講座

立命館大学大学院法学研究科 主催 / 講師陣：大垣 尚司（立命館大学大学院法学研究科教授、金融・法・税務研究センター長）他

先端金融技術や新しい金融ビジネスモデルをファイナンス理論、法、税務等の総合的視点から検討し、実務に活かすことのできる活きた知識を身につける社会人向け講座です。

コースは大学院における正式単位を認定する専修コース（主任教員（大垣）による個人指導や研究支援サービスを提供（最大12単位まで認定））と講義受講のみのディプロマコースの2つを設けます。

講座名	開講期間	曜 日	時 間
科目履修生コース ディプロマコース	4/7～12/15	水・金・土	水 18:30～21:40 金 18:30～21:40 土 13:00～17:50

受講料：科目等履修生コース 348,000円

ディプロマコース 267,000円

企業派遣（ディプロマコース）1企業1枠あたり540,000円

第6回 税法連続公開東京講座

立命館大学 金融・法・税務研究センター 主催 / 講師陣：本山 敦（立命館大学法学部教授、京都家庭裁判所家事調停委員）他

弁護士・税理士等の実務家講師が講義します。8月以降開講予定。

いずれの講座も

会 場：立命館東京キャンパス

問い合わせ先：立命館東京キャンパス

TEL：03-5224-8188 e-mail：tokyo-cp@st.ritsumei.ac.jp

詳しくは立命館東京キャンパスHPを
ご覧ください。

立命館東京キャンパス で、検 索



施主の未来をつくる

中村外二工務店代表 数奇屋建築棟梁

中村 義明 さん（'69経営）

日本の玄関を「本物」で

世界有数の旅客数を誇る日本最大の空港、羽田（東京国際空港）。2010年10月、国際線ターミナルが開業し、海外と日本を結ぶ国を代表する空港の一つとなっている。この羽田の国際線旅客ターミナルビル内に、商業施設「江戸小路」がオープンした。伝統的な手法を用いて、時代の先端を象徴する建築空間の中に本格的な和の世界が演出されている。手がけたのは、京都の数奇屋建築棟梁、中村外二工務店代表の中村義明さんだ。

中村 「東京の玄関であり、日本の玄関である羽田を『本物』で表現したい」と依頼を受けたのは2003年頃。日本はこれからも海外との交流を続けていく必要がある。その日本にとって、羽田はこの国を海外にはっきりと示さなくてはならない場所です。私はクライアントの夢をぜひ実現させようと思いました。

羽田空港の全体の建物はアメリカ人建築家シーザー・ペリの設計で、波・風を表現しています。この現代的な建築空間でどうやって「和」を創り出すのか、そして江戸とは何か。考え抜いて浮かび上がったのが「平安」と町の鎮魂の役割を持つ神田明神でした。そこでまず全体を庭に見立て、並木のように店舗の軒を連ねたのです。枝葉のように軽やかな屋根を施し、軒先には人に安らぎを与える明かりを灯しました。そして江戸の町が一番大切にした神田明神を象徴する朱色の舞台を設置。人が体感的に持っている自然環境を建築に表し、倒れた木から新しい芽が出る「倒木更新」

のイメージで街なみを造りました。空港のような施設は普通なら木造にしないのですが、江戸小路は本物にこだわり、材料には不燃加工をしたヒノキやスギなど天然木材を使っています。どの作業も職人にしか出来ない伝統的な手わざで仕上げました。「本物」の江戸小路は5年、10年と年を経るほどより良い空間になっていくはずです。

現場から学ぶ

中村さんの父、初代の外二さんは、日本を代表する数奇屋建築の匠としてあまりにも有名。親子であっても甘えの許されない職人の世界で、中村さんは先代の下での厳しい修業を経て、今、二代目として「世界の中村外二工務店」を率いる。京都迎賓館主賓室座敷、伊勢神宮茶室や、滋賀県信楽のMIHO MUSEUMの庭園。伝統建築から京都の老舗旅館、個人住宅まで、その仕事は国内外で数多く見る事ができる。

中村 もともと家業を継ぐ気はまったくなくて（笑）。家内工業なので、小さい頃からずっと手伝いだけはしてきましたが、学生時代は「建築なんてできひんし」と思っていて、海外と取引をする商社のようなところで働きたいと思っていました。ずっと別の道を考えていたのですが、茶道裏千家の師匠や俵屋旅館の女将といった工務店の得意先の「こわい人たち」に「大学出たぐらいで日本一にはなれへんけど、中村工務店で一生懸命やったら一番になれるよ」と言われて。「ほな一番になったろ」と、この道に入ったという

わけです（笑）。

最初に任された仕事は、大阪万博の日本庭園内にある茶室。大学卒業直後のことです。それが終わるとすぐにアメリカに渡り、ロックフェラー邸の住宅に取り掛かりました。昔から英語だけは熱心に勉強していたので語学の面ではさほど苦労しませんでした。仕事に関して言えば「少しわかる」という程度。けれど設計を担当した建築家の吉村順三さんに現場の日本側の監督として残るように言われて、3カ月程度の予定が、結局2年ほどアメリカで仕事をする事になったのです。その間に山のように日本の本を読んだことから「赤子の心、大人の理性」で建築を見ることができるようになって。おかげで今でもこの道で生きていられるのだと思います。

そんな風に私は仕事の中で学ぶということを積み重ねてきました。常に「タイトロップの上」ですよ（笑）。でも、なによりも勉強になるのは経験すること。見ただけ、聞いただけで何でもすぐに知っているという人がいますが、知ると感ずるは違います。人は、失敗や間違いを重ねないと感ずることはできません。父とは、学生時代の手伝いの頃も含めると30年以上にわたって一緒に仕事をしてきましたが、「技は盗め」で自分からは何も教えてくれませんでした（笑）。でも意地悪でそうしていたわけではありません。学びたいことは自分から学ぼうとしなければ得られないものなのです。

力強くて上品なものをつくりたい

中村工務店が一流であり続ける理由。それは先代から受け継がれた教え一材料、道具、掃除一を守ること、そして初心を忘れず精進し続けることにある。

中村 大工には2種類あって、一つは神社や寺を作る宮大工。宮大工の仕事は「善真美」で、絶対的な神の教えによって作るのが決まります。数奇屋大工は「真善美」であり「うつわ屋」。数奇屋建築は料理を表現するための器（うつわ）です。料理があつての器なので、建物だけがあつて中に何もなくて使われなかったらおかしい。室内にあるもの



が良いものであるほど、建物は真っ白のキャンパスのようにしないといけない。子どもが来るようなレストランなら床の間を浅くし、国宝級のものを飾るような床の間なら奥行きを深くする。そんな歴史のある「仕掛け」を現代の空間でどう表現するかを追究しているのです。料理で器が決まる反面、料理を変えなければ器を変えればよい。つまり、住む人によって建築が決まるのと同時に、建築が変わればそこに住む人を変えることもできる。数奇屋建築は本来大変自由なもの。ものの真理は可動であり、その結果は多様な建築となる。狭義で言えばいろんな茶室ですが、広義で言うと料理屋や商業ビル、住宅も含む日本の木造建築の一つの顔です。

日本には「草木国土悉皆成仏」一草木や国土にも仏性があるという考え方があります。浮世ににいるということは、自然の中に私たち人間は生かされているということ。その自然観に基づいた、自然と一体化した建築が数奇屋です。自然の中ではいつ何があってもおかしくない。そんな中での生き方は、やはり自然を知ること一木を知り、人を知ることから始まっているんですね。

我々、数奇屋大工に一番大事なものはまず材料。一番良い料理は素材そのものであるのと同じです。だから中村工務店はどこにも負けないとびきりの材料を持っているし、材料をとことん勉強する。学校では技術を教えますが、材料学においては表面的なことしか教えてくれません。でも技術は何から来ているかと言うと、材料からなのです。

大工の上手、下手は道具を見れば分かります。ロック

フェラー邸の仕事の際、アメリカの木に日本製の5万円の鑿（のみ）を使おうとすると鑿の刃先が割れてしまった。でも、ステンレスのアメリカ製の3,000円の鑿を使うと非常にうまく仕事ができた。つまり道具は値段じゃなくて、使われる材料に合わせて出来ている。そして上手い大工は道具をふさわしく扱う。あとは毎日同じレベルで仕事を続けることと、どれだけ「見て」、何に気付くかです。

私たちはいつも力強くて上品なものを作りたいと思っています。そして建物は経年変化で良くなるものであるべきだと考えています。女性だってそうでしょう？ 歳をとってだんだん美しくなるのです。建物も年数が経つほど味わいが出て良くなる。何年経っても生き生きとした建築であるためには、一にも二にもまず掃除。日々丁寧に掃除されてこそ、後世に残るような建物になっていく。建物は作って半分、育って半分。作り終えた時、それからが大変です。

いい仕事をしたなと思うのは、使う人が上手く使ってくれて建物が活きている時。商業ビルであれば店が繁盛して儲かっている時であり、住宅であればそこに暮らす子どもたちがちゃんと成長した時。その子どもたちが大人になって「中村さんにまた自分の家を作ってもらいたい」と言われたら、それがやっぱり一番うれしい。父はいつも施主の予算の2倍を言い返していました。それはどういうことかと言うと、施主の「覚悟」を見るのだと言うのです。「あなたの未来を作る。だから未来を売ってくれ」。それがうつわ屋としての覚悟です。

海外の良さを知り、日本の良さを知る

伝統を守り、「日本とは何か」を追究する数奇屋。その仕事には新しい視点が欠かせない。若い頃から海外での仕事を積み重ねてきた経験が、中村流数奇屋の新たな世界を拓いてきた。

中村 海外へ行くと頭の中を真っさらにできる。日本にずっといると、慣れで見えにくくなっていたことが、海外に出て固定観念を捨てるとよく見えるのです。外国を通して日本が見えるし、また日本が分かれば外国が見える。例えば先日訪れていたイエール大学の敷地には、170～180年前から建てられた建物がたくさんあり、その姿から国が建築を育てようとしているだけでなく、建築家を育てようとしているのがうかがえました。街づくりというのは何なのかと考えさせられましたね。

海外で仕事をする時にはいつも、日本の良さ、建築における日本の考え方を説明しています。日本は、大きさではなく内容。日本のモノは、機能とデザインとで成り立っている。だから小さくても大きいものに勝る強さがある、と。今、世界で日本の自然観が求められています。日本の建築は自然の中にいて和らぐこと、「和を以て尊し」を表現しているのです。それを丁寧に説明することが文化交流であり、文明を伝えるということだと思っています。

中学から大学までを過ごした立命館での日々はとても楽しい時間でした。大学時代のESSでの活動や、ゼミで学んだ国際金融論の知識は今でもとても役に立っています。それになにより、立命館の「ファイティングスピリット」であり自由さは、私の軸になっている。私は、何をする時でもまず頭の中に最終形を作ります。何をしなくてはいけないのかをはっきりと見ながら、やりたい事と、できない理由を考える。それには自由な発想が必要です。山の頂上に行きたければ、自分なりのやり方で絶対にやり遂げる。一步一步だけ、やるかやらないか。この精神こそ立命魂だと思います。

Profile



Yoshiaki Nakamura

1946 年	京都生まれ
1959 年	立命館中学校入学
1962 年	立命館高等学校入学
1965 年	立命館大学経営学部入学
1969 年	同 卒業
	中村外二工務店入社
1984 年	株式会社興石（中村外二工務店設計管理部門）設立
1988 年	同 家具部・指物部 設立
1997 年	中村外二工務店代表就任
	現在に至る

主な仕事に、京都迎賓館主賓室、伊勢神宮茶室、MIHO MUSEUM庭園、俵屋旅館、美山荘洞爺など。2010年、羽田空港国際線ターミナル4F商業施設「江戸小路」。



都道府県校友会

- 12/10 石川県校友会総会
(120名・金沢ニューグランドホテル)
- 12/11 栃木県校友会総会
(37名・宇都宮東武ホテルグランデ)
- 1/9 岩手県校友会
沿岸地区校友会(宮古地区)
(5名・重茂仮設集会所)
- 1/21 島根県校友会総会
(42名・サンラポーむらくも)
- 1/28 北海道校友会総会
(70名・ホテルライフオート札幌)
- 1/28 岩手県校友会新年会
(20名・きのえね本店)
- 2/4 奈良県校友会新年会
(43名・料亭「尾川」)



石川県校友会総会



栃木県校友会総会



島根県校友会総会



北海道校友会総会

海外校友会

- 2/4 上海校友会総会
(34名・友膳坊)



上海校友会総会

地域校友会

- 12/3 兵庫県校友会西宮支部例会
(20名・日本盛 酒蔵通り煉瓦館)
- 12/22 福岡県校友会筑後支部
「筑後会」発足総会
(31名・ホテルマリタレー創世久留米)
- 1/21 愛媛県校友会松山支部総会・新年会
(50名・いよてつ会館)
- 2/4 姫路立命会総会
(80名・まねき食品)
- 2/4 浜松校友会新春懇親パーティー
(40名・ホテルコンコルド浜松)
- 2/5 立命館湘南クラブ新年会
(40名・レストランパウゼ)



「筑後会」発足総会



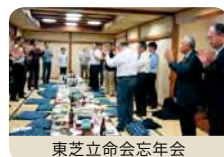
愛媛県校友会 松山支部総会



姫路立命会総会

職域校友会

- 11/30 東芝立命会忘年会
(30名・東芝従業員クラブ京浜第八寮)
- 12/3 技術士会交流・懇親会
(22名・レストランモリシタ)
- 1/25 金沢市役所立林会
(30名・割烹たけし)
- 1/28 北朋会総会
(30名・ホテルライフオート札幌)
- 2/22 姫路市役所衣笠会臨時総会
(ホテル日航姫路)



東芝立命会忘年会



北朋会総会

学部・学科校友会

- 12/3 第30回奈良建設会記念総会
(60名・猿沢荘)
- 1/20 建設会三重県支部総会
(30名・地域職員共済組合
榎原保養所「神湯館」)
- 1/21 建立会(建設会大阪支部)総会
(200名・ヴィアーレ大阪)



奈良建設会記念総会



建立会総会

サークルOB・OG会

- 11/26 女子陸上競技部20周年の集い兼
全日本大学女子駅伝優勝報告会
(116名・京都タワーホテル)



女子陸上競技部20周年の集い

その他の会

- 12/9 末広会
(18名・末川記念会館
レストラン「カルム」)
- 1/22 選抜女子駅伝北九州大会応援企画
(北九州校友会主催、北九州市内)



末広会

オール立命館校友大会2012 in新潟 10月6日(土)に開催!



■ 昨年の校友大会の様子

名 称 「オール立命館校友大会 2012 in 新潟」
日 時 2012年10月6日(土) 12:00 ~ 20:00 (予定)
会 場 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター
 (新潟市中央区万代島6番1号)

校友大会初めての日本海側都市での開催となる今回は、開催地新潟県校友会をはじめ関東甲信越地域の10都県校友会で実行委員会を構成し、現在魅力溢れる企画内容を鋭意考案中です。次回の会報249号にて、詳細、参加方法等をお知らせいたします。ぜひご期待ください。

「統計界で最高の栄誉」 校友 桑原廣美さん大内賞受賞!

国内の統計の進歩に貢献した個人、団体等を表彰する「大内賞」。統計界における最高栄誉とも言われる大内賞を、昨年行なわれた元第61回全国統計大会で、元総務省政策統括官(統計基準担当)付統計審査官の校友・桑原廣美さん(71法)が受賞されました。

京都市長選で現職・門川大作さんが 再選されました!

2012年2月5(日)、任期満了に伴って実施された京都市長選で、現職の門川大作さん(74法)が再選を果たしました。続投にあたり、門川さんは、「市民の皆様は“住んでよかった”“京都で子育てしてよかった”と心から実感いただき、全国、世界中の方々に“日本に京都があつてよかった”と感動いただける京都を築く」と、強い決意を表明しました。

元オリンピックメダリスト、シンクロナイマー武田美保さんの講演会が 東京校友会主催で開催されました!

2012年2月6日(月)、立命館東京キャンパスで東京校友会主催の女性セミナーが開かれ、元オリンピックメダリストのシンクロナイマー武田美保さん(99産社)が講演を行なった。校友だけでなく、武田さんのファンなど一般の参加者も集まり、約50名が講演に耳を傾けた。

「20~30代の女性に元気を与えるセミナーを」と始められた同セミナーでは、毎回各界で活躍する女性リーダーを講師に招いて講演会を開いている。対象は女性に限っておらず、今回も参加者の半数を男性



が占めるなど性別を問わず人気のセミナーだ。開催15回を記念する今回は、「目標に向かって突き進み、壁を乗り越え、夢を叶える卓越した力から生まれるその魅力を伝

えたい」と武田さんを講師に迎えた。

「夢を追いかけて、夢を叶える、そして輝き続ける」と題した講演では、シンクロを始めた小学生時代から井村雅代コーチとの出会い、メダルを獲得した三つのオリンピックでの経験や、第二のキャリアを進み、三重県知事夫人としてさらに新しい世界に踏み出した現在まで、武田さんの強い精神力と行動力が築いた道のりがはつらつと語られた。熱心に講演に聞き入っていた参加者は「パワーをもらった。武田さんの強さを見習って自分のキャリア形成の参考にしたい」と話し、大いに刺激を受けていた。講演の後は懇親会が行なわれ、参加者は武田さんとのフリートークを楽しみながら和やかに交流を深めていた。



被災地からのメッセージ

被災地の自立目指して

宮城県利府町在住
米田公男 さん（'82文） 純子 さん（'82文）
Hiroo Yoneda / Junko Yoneda

東日本大震災では、利府にある自宅の被害は損壊程度でしたが、水道、ガスのほか、電気が遮断され、最初は情報を得る術がなく、状況をまったく把握できませんでした。発生当日の夕方に受けた広島にいる兄からの電話で、初めて地震の大きさに気付かされたぐらいです。それからの主な情報源は一日中つけっぱなしのラジオ。インターネットが復旧してからはいろんな情報が入るようになりましたが、幸か不幸か、本当に恐ろしい状況をリアルタイムで知ることはありませんでした。

状況を理解するにつれ、「生きてはいるけど、これからどうしていけばいいのだろう」という思いが強くなりました。けれど紙一重で助かった。だから必死に働いてきました。震災から1年が経ち、被災者の方々の暮らしも変化しました。ゼロから仕事を立て直して懸命に働く人がいる一方で、支援をもらうことに慣れてしまって働けるのに働かない人も出



震災で墓地も減茶苦茶に。石材業を営む米田さんも、復旧に励んできた。



てきている。被害に対して補償が見合わないこともあり、本当に必要な人に支援が届いていないことも少なくありません。「被災者」とは一体誰のことなのか、深く考えてほしいと思います。

心配しているのは、今後コミュニティが戻らない可能性があるということ。コミュニティにとって大事なものは、行政はもちろんですが、地域を作っていくための産業と教育、そしてお祭りなどを通して地域のつながりを育むお寺や神社。これらの復興がなければ人は集まりません。これからは被災地も自立していかなければなりません。そのためには地元住民が自立できるような産業を活性化させていく必要がある。ボランティアと仕事を明確に分けて、仕事となる部分は可能な限り地元住民ができるようになればと思います。

校友の皆様の支援には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。卒業して数十年も経つのに、このようなことがあって大学のつながりの大切さを思いました。私たちは一人でも多くの方に現地を見てほしいと思っています。「見世物じゃないぞ」と、怒る方がいるのも事実です。けれど来て、話を聴いてほしい。写真も撮ってください。きれいすぎるくらいに、何もかもなくなってしまった被災地の「今」を、皆様それぞれの力で伝えてもらうことが大切なのです。

立命館大学校友会東日本大震災義援金について

これまで（2011年3月24日～2012年1月31日）に以下の皆様方から義援金をお寄せいただきました。ご協力いただきました皆様に心よりお礼を申し上げます。

● 個人（卒業年・50音順）※敬称略



個人情報保護のため、PDFではご協力いただいたみなさまのお名前を非表示としています。

2011 年度幹事会出席者（179 名）	2011 年度関西エリア新校友歓迎会参加者（145 名）
2011 年度関東エリア新校友歓迎会参加者（175 名）	2011 年度東海エリア新校友歓迎会参加者（145 名）
「オール立命館校友大会 2011in 京都」参加者（1,343 名）	「オール立命館校友大会 2011in 京都」広告協賛者（34 名）

● 団体・グループ・企業（50音順）※敬称略

愛知県校友会	秋田県校友会	尼崎市役所比叡会
石川県校友会	市川会	宇部小野田校友会
愛媛県校友会	遠藤晃ゼミOB会	応化会
大阪校友会	岡山県校友会	香川県校友会
鹿児島県校友会	建立会（建設会大阪支部）	技術士会
北九州校友会	岐阜県校友会	機友会兵庫支部
京都校友会	経営学部社会人学生同窓会	軽音楽部OB会
香立会（建設会香川県支部）	ジーンズショップ カラカラ	静岡県校友会
写真研究会OB会	上海校友会	スポーツフェロー
住友電設R会	成学社立命会	全国行政書士立命会
体育会硬式庭球部OB会	体育会射撃部OB会	高槻島本校友会
千葉県校友会	敦賀立命会	東京校友会
栃木県校友会	鳥取県東部校友会	土木47会
奈良県校友会	奈良県北部校友会（立命若草会）	南海立命会
新潟県校友会	西宮市役所立朋会	株式会社バチ・ホリック京都
兵庫県校友会	兵庫県校友会西宮支部	広島県校友会
広島県東部校友会	福井県校友会	福岡県校友会
法学部同窓会	三重県校友会	
2011 年度オール立命館校友大会 協賛金協力 102 団体		

※卒業年、学部・研究科名は、校友会に登録されている情報に基づき記載しています。なお複数の学部・研究科を卒業・修了されている場合は、最終歴を記載しています。

合計 6,828,287 円 2012年1月31日現在

（ 個人 2,087 名 2,396,483 円 ）
（ 団体・グループ 161 件 4,431,804 円 ）

東日本大震災復興支援特別委員会の決定に基づき、以下の通り義援金の第二次配分を行ないました。

- 時期：2011 年 12 月 7 日送金
- 金額：4,400,000 円
- 配分先と内訳：岩手県校友会 1,000,000 円、宮城県校友会 1,700,000 円、福島県校友会 1,700,000 円

義援金募集

被災された校友の方々に少しでもお役立ていただくために、引き続き、全国の校友の皆様を対象に、義援金を募集しております。ひとりでも多くの皆様の温かなご支援・ご協力をお待ちしております。

■ 受付方法

募集の期間や口数・金額等は定めておりません。

<個人>

振込み手続きの際には、振込み人名の欄に、氏名、卒業年、学部名を記入（入力）してください。

例：「リツメイ タロウ S56 ケイザイ」

学部名の記入（入力）は、以下のとおりとしてください。

法学部＝ホウ	経済学部＝ケイザイ
経営学部＝ケイエイ	産業社会学部＝サン
国際関係学部＝コク	文学部＝ブン
政策科学部＝セイ	映像＝エイゾウ
理工学部＝リコウ	情報理工学部＝ジョウリ

<団体・グループ>

振込み手続きの際には、振込み人名の欄に、団体・グループ名を記入（入力）してください。

■ 芳名の公表

ご協力いただいた個人、団体・グループについては、芳名を、会報「リつめい」に掲載させていただきます。

匿名を希望される場合は、振込み手続きの際、振込み人名の欄に、氏名とともに「トクメイ」と記入（入力）してください。

例：「リツメイ タロウ トクメイ」

■ 受付口座は以下の3つです

【受付口座1】

京都銀行：二条駅前支店
（普）1020251
（銀行コード0158：店番コード129）
口座名義 立命館大学校友会義援金口

同行本・支店間での振込みの場合、窓口・ATMともに振込手数料は無料となります。

【受付口座2】

京都中央信用金庫：三条支店
（普）1180144
（銀行コード1611：店番コード006）
口座名義 立命館大学校友会義援金口

同金庫本・支店間での窓口利用振込の場合「義援金の振込である旨」お申し出いただくことにより手数料が無料となります。但し、ATM利用の場合は手数料が発生します。

【受付口座3】

みずほ銀行：京都中央支店
（普）2361818
（銀行コード0001：店番コード473）
口座名義 立命館大学校友会義援金口

同行本支店間・みずほコーポレート銀行本支店からの振込みの場合、窓口・ATMともに振込手数料は無料となります。

なお、この義援金募集に関わって、本会では領収証等の発行は行ないません。予めご了承ください。ご不明な点がございましたら、立命館大学校友会事務局（フリーダイヤル0120-252-094）までご連絡ください。

「立命館大学校友会 東日本大震災復興支援情報サイト」パソコン版、携帯電話版のどちらからでも、復興支援事業などについてご確認いただけます。また簡単な登録をするだけで、パソコンからも携帯電話からも掲示板への書き込みが出来るようになりましたので、ぜひご活用ください。



<http://www.hajimari.info/next/mobile>

パソコン版
サイト



<http://www.hajimari.info/next/>

ビジネスパーソン インタビュー

北九州銀行 頭取

加藤敏雄 さん（'71経営）

日本の産業の要衝であり、人口百万人を擁する政令指定都市、北九州市。

日本銀行の支店が所在しながらも、これまで同市に本店を置く銀行はなかった。

「地元の本拠を置く銀行を!」との長年にわたる

市民・財界・行政からの熱望に応え、2011年10月に北九州銀行を設立、

その初代頭取に校友加藤敏雄さんが就任した。

「仕事には明るさと前向きな姿勢が何より大切」と語る

加藤頭取にお話をうかがった。

―北九州銀行発足にあたっての抱負をお聞かせください

私どもの母体となる山口銀行（以下山銀）は、同じ関門経済圏の下関に本店があり、この北九州においても約60年前から営業を開始しました。お客様からは長年にわたって「ぜひ山北銀行を」というお声を多数いただいておりますが、5年前に山銀がもみじ銀行と経営統合、金融持株会社である山口フィナンシャルグループ（以下YMFG）を設立し、その傘下に子銀行を持つことが可能になったことから、新銀行設立構想が本格化しました。私どもは山銀の九州域内の事業を分割する形で設立したため、システム変更等で多大な負担を要しましたが、地域に根ざし、地元の皆様から愛着を持っていただけ、地域No.1の銀行となるためには、いずれも必然の選択であったと考えています。

キャッチコピーは、「ず〜っと、いっしょに北九州銀行。」「この街とともに。あなたとともに。」これらには、地元の皆様に愛され、お役に立てる地方銀行として、この街とともにずっと一緒に歩んでいきたい、とのメッセージを込めています。また、シンボルマークは公募により、北九州市の花である「ひまわり」をデザインしたものに決定しました。

おかげさまで、私どもの開業記念定期預金は3カ月間のキャンペーン期間で1,047億円を突破、普通預金についても累計で1万8千口のご

経歴・プロフィール



47年10月生まれ。71年3月山口銀行入行。新下関支店長、若松支店長、本店審査部長、取締役本店営業部長、常務取締役北九州本部長、専務取締役北九州本部長を経て、11年10月北九州銀行代表取締役頭取就任。現在、山口フィナンシャルグループ専務取締役も同時に務める。家族は夫人と一男一女。趣味はゴルフと水泳。



新約をいただきました。地元の皆様からの期待の大きさをあらためて実感するとともに、一層気を引き締めているところです。

私自身、山銀福岡支店で銀行マン生活をスタート、その後、若松支店長、本店審査部長、北九州本部長を経験、そして今回の初代頭取就任となりました。なお職場結婚の家内も九州出身で、ご当地には大変縁が深い人間だと思っています。私どもの役員は皆、家族と一緒に北九州で暮らしており、仕事も生活も地域密着を実践していますよ（笑）。

―北九州銀行のプレゼンスとセールスポイントをお聞かせください

私どもは北九州を本拠とする地方銀行として、地域密着型金融の徹底を図り、地域の発展・繁栄に貢献するリテールバンクを標榜しています。組織もスリム化し小回りがききますし、お客様との距離も近いので、きめ細やかなサービスを迅速にご提供できる環境が整っています。特にご融資の決済は早くして、営業店で対応困難な専門的問題は、高度なスキルや知識を持った本部行員がお客様のところに出向いてスピード感をもって対応いたしております。「親切・迅速・丁寧」をモットーに、こうした機動力をフルに発揮して、「北九州銀行ができて本当に良かった」とお客様に実感していただきたいと思っています。

コンビニATMの手数料も無料化いたしました。セブン銀行、E-net提携コンビニにて、平日の8:45～18:00の間、全てのお客様について日本全国どこでも現金の入出金手数料が無料となります。遠方に出張される会社員の方、お子様に仕送りされる親御さんなどに、とても便利だとご好評をいただいております。

また、預金通帳のデザインについては、北九州の伝統工芸である小倉織を使用するとともに、個人のお客様向けには地元出身の松本零士先生の「銀河鉄道999」の通帳もご用意しています。地元の皆様に、身近な銀行と感じていただけると嬉しいです。

―頭取ご自身の座右の銘をお聞かせください

私は「得意泰然、失意淡然」という言葉を大切にしております。銀行業務の性格上、実に様々な局面に対峙するわけですが、常に平常心を保ち、的確な判断とスピード感ある対応をしていかなければなりません。部下行員たちは常にトップを見ていますから、物事に一喜一憂しないリーダーの姿勢が極めて重要です。その意味で、この言葉は組織運営の要諦でもと感じています。私自身、およそ40年にわたる銀行マン生活において、多くの立派な上司や先輩に出会い薫陶をうけるなかで、自身が理想とするリーダー像を形成してきました。「物事は大きく考えて、明るく楽しく仕事をしよう!」というのが現在の私の信条になっています。

―さて、頭取ご自身は立命館大学において

どのような学生生活をお過ごしになりましたか。

また立命館や学生・卒業生への思いをお聞かせください

私は山口県の周防大島出身で67年入学です。後から知りましたが、文学部におられた奈良本辰也先生と同郷なんですね。実は私は国立志望であり、受験結果の「縁」で立命館に入学しましたが（笑）、同郷出身の碩学が教壇に立つ大学に学んだことは、やはり縁だったのでしょ。立命館は教授陣が素晴らしく、学校もきっちりしていたことが誇りです。

1・2回生は大変真面目に勉強したものの、3回生になって学園紛争が激化してキャンパスに入れなくなってしまい、仕方なく麻雀や社会勉強をしていました。試験もなくレポートになりましたが、そのおかげで無事卒業できたのかもと思うこともあります。

毎夏には郷里に戻って、山口県青少年海洋訓練所で指導員を務めました。小・中・高生相手に、水泳、カッター、手旗、キャンプファイヤーなどを指導するのですが、厳しくも楽しかった思い出があります。特に水泳は得意で、今でもストレス解消のため、時折泳ぐことがあります。もともと、当時ほどには息が続かず残念でなりません（笑）。

立命館にはハングリー精神がありますね。志の強さでも言うのでしょうか、くじけず前に進んでいく力があると感じています。私どもの部下行員である校友を見ていても、仕事に対する姿勢が前向きで行動力があ

る。断られても、断られてもへこたれない（笑）。これは勉強プラスアルファの要素であり、私は高く評価していますよ。現在、私どもはじめYMFGにはおよそ140名の立命館校友がおりますが、山銀入行第一号が私でありました。このことで少しは大学に貢献できたかもしれませんね。

―頭取ご自身の銀行マンとしての仕事観や若い行員の方に望むこと、また金融業界で働く校友へのメッセージをお聞かせください

山銀の支店長を務めていたころ、あるお客様の会社が倒産寸前になったことがありました。部材等の仕入れがストップし操業できないため、我々の支店も大変苦しい状況に立たされましたが、その会社には確かな技術があり、私は資金繰りと山銀のバックアップがあれば必ず再生できると確信し、お客様と一緒に仕入先等を奔走し、順次取引の再開に漕ぎ着けました。その企業は見事再生、更なる発展を果たして、今は私ども一取引の関係です。

支店長や行員にはいつも、「いい意味で支店に名が残る行員になれ」と言っています。私は、お客様のお困りの事案と一緒に解決し、また願いを成就させることに、銀行マンの仕事の原点があると考えています。お客様との関係づくりについても、まずは土台に常識と礼儀があって、それから専門知識であると思っています。特に若い行員は、明るく誠実な人柄でお客様に好かれる存在であって欲しいですね。お客様にファンになっていただけることが、銀行マンに人的な成長をもたらし、支店や銀行の歴史を形成します。

また、銀行をはじめ金融機関で働く校友の皆さんには、「自分のカラーを思いっきり出して仕事をしてほしい」と伝えておきたいと思います。金融機関の仕事には、シビアな面が多々あるため、少々折れそうになることもあるかもしれませんが、そんな時にこそ前向きであってほしい。私も経験があり実感があるからこそ申し上げるのですが、上司に怒られることや、少々言い争うくらいのことは、実はどうってことありません。転勤のサイクルは大体3年。相手も自分も考えれば、平均1年半で上司は変わります（笑）。どうしてもソリが合わない人もいるかも知れませんが、ずっとその人と一緒にいることはなく、ひたむきな努力を重ねていれば、必ず誰かが見ているし報われます。頑張ってください。



部下行員の校友中村祐治さん（'85経営・後列左）、魚重貴宏さん（'06法・後列右）と一緒に

都道府県校友会・学部校友会 連絡先一覧

2012年2月末日現在

校友会本部役員			
会 長	山中 諄	’65経済	南海電気鉄道(株) 取締役会長兼CEO
副会長	布垣 豊	’61法	京都中央信用金庫理事長
	西村 隆	’63法	前びわ湖放送(株) 代表取締役社長
	飛鳥井雅和	’64法	(有) ASUKAI企画取締役
	高崎 秀夫	’67法	(株) 京都銀行代表取締役頭取
	住野 公一	’70経済	(株) オートバックスセブン相談役
	村上 健治	’70産社	大和ハウス工業(株) 代表取締役副会長
副会長	福元 寅典	’72経済	前(株) 南日本新聞社専務取締役
		林 幸雄	’73産社 (株) 電広エイジェンシー代表取締役社長
		佐藤友美子	’75文 サントリー文化財団上席研究フェロー
監 事	肥塚 浩	’87院経済	(学) 立命館総長特別補佐
		高橋 英幸	(学) 立命館一貫教育部担当部長
		佐竹 力総	(株) 美濃吉代表取締役社長
監 事	鈴木 治一	’91法	弁護士

都道府県校友会				
校友会名	会長名	事務局		連絡先電話番号
立命館大学北海道校友会	廣長 明夫	006－0805	札幌市手稲区新発寒五条1－8－1 中川 均 様	011－251－3373
立命館大学東北海道校友会	合田 賢二	080－0010	帯広市大通南21－18－2 勇昇印刷 本田公一 様	0155－23－7414
立命館大学青森県校友会	鎌田 学而	030－0803	青森市安方1－5－17 船水重利 様	017－722－2926
立命館大学岩手県校友会	菊池 宏	020－0802	盛岡市つつじが丘7－3 酒井博忠 様	019－654－3893
立命館大学宮城県校友会	下村 泰雄	984－0831	仙台市若林区沖野4－5－20 柏原 晋 様	022－286－9928
立命館大学秋田県校友会	今野 謙 (会長代行)	010－1436	秋田市大住2－4－19	018－831－1250
立命館大学山形県校友会	奥山 正明	991－0032	寒河江市南町2－3－13 奥山正明 様	0237－86－8387
立命館大学福島県校友会	富田 良夫	970－8026	いわき市平字六間門15 三村智春 様	0246－24－1386
立命館大学新潟県校友会	小野 守通	950－0982	新潟市中央区堀之内南2－15－1 小畑正敏 様	025－247－2478
立命館大学長野県校友会	大槻 四郎	390－0822	松本市神田1－28－2 降幡信秀 様	0263－25－0279
立命館大学山梨県校友会	野口 忠蔵	400－0024	甲府市北口1－5－26 ラブリハイツ707 川崎 毅 様	055－251－0428
立命館大学茨城県校友会	木村 幸夫	310－0903	水戸市堀町2247－8 木村幸夫 様	029－252－8401
立命館大学栃木県校友会	高野 雅文	329－1104	宇都宮市下岡本町3792－4 笠原朋雄 様	028－673－1783
立命館大学群馬県校友会	石橋 博	370－3521	高崎市棟高町1802－409 石橋 博 様	027－372－8422
立命館大学埼玉県校友会	常田 幸正	104－0041	東京都中央区新富1－16－8 エクセルアート(株) 内 榎本哲郎 様	03－3552－2201
立命館大学千葉県校友会	原 宏亮	276－0031	八千代市八千代台北15－19－28 原 宏亮 様	047－485－8998
立命館大学東京校友会	住野 公一	100－0005	千代田区丸の内1－7－12 サピアタワー 8階 立命館東京キャンパス	03－5224－8188
立命館大学神奈川県校友会	野口 邦夫	226－0006	横浜市緑区白山4－23－19 長谷川貞栄 様	045－933－4662
立命館大学富山県校友会	坪井新一郎	930－0004	富山市桜橋通り2－28 (株) 名鉄トヤマホテル 参与 吉野久幸 様	076－431－2201
立命館大学石川県校友会	加納 裕	921－8103	金沢市つつじが丘107 木場密雄 様	076－243－5806
立命館大学福井県校友会	村尾 敬治	910－3634	福井市大森町31－21 古村隆一 様	0776－98－4671
立命館大学岐阜県校友会	成瀬 正	503－0835	大垣市東前3－2－3 レオパレス川合202 麺味オフィス 内 房野麻紀子 様	0584－74－3036
立命館大学静岡県校友会	大石 育三	416－0946	富士市五貫島639－2 大石育三 様	0545－63－8984
立命館大学愛知県校友会	林 幸雄	461－0004	名古屋市中区葵3－15－31 住友生命千種ニュータワービル14F (株) 電広エイジェンシー 加藤智大 様	(FAX) 052－937－1250
立命館大学三重県校友会	中山 一幸	516－0012	伊勢市通町448－1 (有) 勝原産業 勝原誠一 様	0596－25－9209
立命館大学滋賀県校友会	柊 勝次	520－8686	大津市浜町1－38 (株) 滋賀銀行 システム部 高津知仁 様	077－521－2440
立命館大学京都校友会	布垣 豊	604－8520	京都市中京区西ノ京朱雀町1 立命館大学 校友・父母課	075－813－8216
立命館大学大阪校友会	村上 健治	530－0018	大阪市北区小松原町2－4 大阪富国生命ビル5階 立命館大阪キャンパス	06－6360－4895
立命館大学兵庫県校友会	辻 寛	655－0854	神戸市垂水区桃山台5丁目7－2 辻 寛 様	090－9541－4696
立命館大学奈良県校友会	渡邊 申孝	634－0812	橿原市今井町3－2－32 福井徳丞 様	0744－22－1697
立命館大学和歌山県校友会	石橋 征司	640－8303	和歌山市鳴神248－51 山田啓二郎 様	073－471－4911

校友会名	会長名	事務局		連絡先電話番号
立命館大学鳥取県東部校友会	本多 達郎	680－0874	鳥取市叶122 西垣ビル (株) アド・ネットワーク 内 西垣佳則 様	0857－30－0555
立命館大学鳥取県西部校友会	秦 伊知郎	683－0037	米子市昭和町25－1 サンイン技術コンサルタント(株) 内 大野木昭夫 様	0859－32－3308
立命館大学島根県校友会	石倉 徳章	690－0851	松江市堂形町737－6 田中安信 様	0852－27－2903
立命館大学岡山県校友会	守屋 博司	700－0903	岡山市北区幸町7－14 天水 幸町店 守屋博司 様	086－232－0945
立命館大学広島県校友会	伊藤 利彦	731－5115	広島市佐伯区八幡東2丁目28－27 田中龍次 様	082－928－0132
立命館大学広島県東部校友会	岩村 寿夫	720－0808	福山市昭和町6－1 福山電業(株) 島田 斉 様	084－922－6361
立命館大学山口県校友会	清弘 和毅	753－0043	山口市宮島町7－21 中村史朗 様	083－924－0283
立命館大学宇部小野田校友会	渡邊 浩	755－0047	宇部市島1－4－55 宇部市教育委員会学校安心支援室 森島正信 様	0836－29－4725
立命館大学徳島県校友会	鎌田 啓三	770－0874	徳島市南沖洲2－7－33 鎌田啓三 様	088－664－2344
立命館大学香川県校友会	村上 良一	760－0071	高松市藤塚町2－12－15－404 穴吹 学 様	087－862－3565
立命館大学愛媛県校友会	岡本 正志	791－8022	松山市美沢1－1－23－203 石田二郎 様	089－925－2547
立命館大学高知県校友会	森山 泰宏	781－2110	吾川郡いの町4016－1 平井雅章 様	088－893－3410
立命館大学福岡県校友会	清家 邦敏	816－0092	福岡市博多区東那珂3－6－62 大成印刷(株) 代表取締役社長 清家邦敏 様	092－472－2621
立命館大学北九州校友会	藤田 卓也	804－0025	北九州市戸畑区福柳木2－3－11 初村雅敬 様	093－882－9240
立命館大学佐賀県校友会	白武 悟	842－0014	神崎市神崎町姉川12215 伊香賀俊介 様	0952－53－4243
立命館大学長崎県校友会	横山 正人	850－0037	長崎市金屋町4－5 (株) 長崎ガードシステム 内 山口孝司 様	095－825－3795
立命館大学熊本県校友会	隈部 幸一	860－0017	熊本市練兵町1 財団法人地域流通経済研究所 内 飯田俊之 様	096－326－8625
立命館大学大分県校友会	岡崎 信行	870－0128	大分市森108－83 佐藤昌彦 様	097－521－5392
立命館大学宮崎県校友会	高橋 一身	880－0926	宮崎市月見ヶ丘5－1－1 フォンテ月見ヶ丘三番館202 南 英輝 様	0985－44－1975
立命館大学鹿児島県校友会	福元 寅典	890－0053	鹿児島市中央町16－9 川窪宏一 様	099－253－3336
立命館大学沖縄県校友会	糸洲 昇	900－0005	那覇市天久2－28－23－203 島袋 健 様	090－7587－0858

学部校友会			
衣笠キャンパス 603－8577 京都市北区等持院北町56－1			
校友会名	会長名	事務局	連絡先電話番号
立命館大学法学部同窓会	赤木 文生	法学部事務室内	075－465－8175
立命館大学文学部校友会	中小路宗隆	文学部事務室内	075－465－8187
立命館大学産業社会学部校友会	古谷 寛	産業社会学部事務室内	075－465－8184
立命館大学国際関係学部校友会	林 夏音	国際関係学部事務室内	075－465－1211
立命館大学政策科学部同窓会	新井 弘徳	政策科学部事務室内	075－465－7877
立命館大学映像学部同窓会	大矢 侑輝	映像学部事務室内	075－465－1990
びわこ・くさつキャンパス 525－8577 滋賀県草津市野路東1－1－1			
校友会名	会長名	事務局	連絡先電話番号
立命館大学経済学部同窓会	住野 公一	経済学部事務室内	077－561－3940
立命館大学経営学部校友会	奥田 直幸	経営学部事務室内	077－561－3941
立命館大学数物会	河野 俊彦	理工学部数学物理学系事務室内	(FAX) 077－561－2657
立命電友会	南 能寿	理工学部電子システム系事務室内	077－561－2662
立命館大学機友会	大内 章	理工学部機械システム系事務室内 理工学部マイクロ機械システム工学科 鳥山寿之様	077－561－5098
立命館大学建設会	川那部隆二	理工学部環境都市系事務室内	077－561－4911
立命化友会(旧 立命館大学応化会)	北尾 舒彦	生命科学部・薬学部事務室内	077－561－2658
立命館大学情報会	上嶋 明	情報理工学部事務室内	077－561－5295

海外校友会				
(順不同)				
立命館大学北カリフォルニア校友会	立命館大学バンクーバー校友会	立命館大学上海校友会	立命館大学ハノイ校友会	立命館大学インドネシア校友会
立命館大学ロスアンジェルス校友会	立命館大学英国校友会	立命館大学広州校友会	立命館大学サイゴン校友会	立命館大学インド校友会
立命館大学テキサス会	立命館大学ドイツ校友会	立命館大学香港校友会	立命館大学タイ王国校友会	立命館大学シドニー校友会
立命館大学シカゴ校友会	在韓立命館大学同們会	立命館大学台湾校友会	立命館大学マレーシア校友会	
立命館ニューヨーク校友会	立命館大学北京校友会	立命館大学モンゴル校友会	立命館大学シンガポール校友会	



立命館はご卒業後もあなたのそばに

各種証明書の発行や施設利用、生涯学習支援についてご案内いたします。

用 件	窓 口	手 続 き、施 設 紹 介 など
各種証明書の申込みについて	◆法学部事務室 (法学部／法学研究科) TEL. 075-465-8175 ◆文学部事務室 (文学部／文学研究科) TEL. 075-465-8187 ◆産業社会学部事務室 (産業社会学部／社会学研究科) TEL. 075-465-8184 ◆国際関係学部事務室 (国際関係学部／国際関係研究科) TEL. 075-465-1211 ◆政策科学部事務室 (政策科学部／政策科学研究科) TEL. 075-465-7877 ◆映像学部事務室 (映像学部) TEL. 075-465-1990 ◆独立研究科事務室 (応用人間科学研究科) TEL. 075-465-8375 (先端総合学術研究科) TEL. 075-465-8348 (言語教育情報研究科) TEL. 075-465-8363 ◆経済学部事務室 (経済学部／経済学研究科) TEL. 077-561-3940 ◆経営学部事務室 (経営学部／経営学研究科) TEL. 077-561-3941 ◆スポーツ健康科学部事務室 (スポーツ健康科学部／スポーツ健康科学研究科) TEL. 077-561-3760 ◆総理工学院理工学部教学課 (理工学部) TEL. 077-561-2625 ◆総理工学院情報理工学部教学課 (情報理工学部) TEL. 077-561-5202 ◆総理工学院生命科学部・薬学部教学課 (生命科学部・薬学部) TEL. 077-561-5021 ◆総理工学院企画課 (理工学研究科) TEL. 077-561-2624 (テクノロジー・マネジメント研究科) TEL. 077-561-3421 ◆プロフェッショナルスクール事務室 (法務研究科) TEL. 075-813-8272 (経営管理研究科) TEL. 075-813-8273 (公務研究科) TEL. 075-813-8274	卒業学部・研究科の事務室にお越しいただくか、封書でお申し込みください。直接お越しの際は、必ず身分証明書(運転免許証・健康保険証等)をご持参ください。郵送でお申し込みの際は、下記の必要事項を明記し、『発行手数料分の郵便為替(定額小為替)または郵便切手』と「返信用封筒(切手を貼り、送り先を明記)」、身分証明書のコピーを同封のうえ、お送りください。なお、ご不明な点がございましたら、各学部事務室までお問い合わせください。 【必要事項】 ●氏名・フリガナ(英文申請時はローマ字も) ●卒業年月 ●卒業学部・学科・専攻 ●生年月日 ●郵送先(現住所) ●連絡先電話番号 ●利用目的(簡単に) ●申請される証明書の種類と枚数、和文／英文の別、厳封の有無 (「学力に関する証明書(教員免許授与申請用)」を申請される場合は、本籍地と証明書の提出先もご記入ください) ●手数料の支払い方法と金額(「郵便切手600円分」など) ●身分証明書(コピー)の種類 【手数料】 ●卒業(修了)証明書、成績証明書、学力に関する証明書(教員免許授与申請用)、在学期間証明書(休学期間を除く)、在籍期間証明書(休学期間を含む): 1通300円 ※英文証明書も同額です 【返信用封筒・郵送料の例】 ●証明書3通まで、厳封なしの場合: 長型3号封筒に、切手80円を貼付 ●証明書3通まで、厳封ありの場合: 角型2号封筒に、切手120円を貼付 そのほかご不明な点は、ご卒業の学部・研究科事務室にお問い合わせください。
図書館の利用	◆衣笠図書館 TEL. 075-465-8217 ◆メディアセンター(BKC) TEL. 077-561-2634 ◆メディアライブラリー(BKC) TEL. 077-561-3943 ◆朱雀リサーチライブラリー TEL. 075-813-8257 http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/mr/lib/	●利用登録申請が必要です。下記の必要書類をご用意のうえ、衣笠図書館1階インフォメーションカウンター、メディアセンター1階サービスカウンター、メディアライブラリー2階サービスカウンター、朱雀リサーチライブラリーカウンターのいずれかで所定の手続きをお済ませください(土日に申請いただいた場合は、後日の発行となることがあります)。 ●申請は、閉館時刻の1時間前まで受け付けています。 ●開館日・開館時間は、ホームページにてご確認ください、お問い合わせください。 【申請にあたってご用意いただくもの】 1. 次のいずれかの書類の原本(現住所の確認をさせていただきます) 運転免許証・健康保険証・住民票の写し(発行後1カ月以内) 2. 利用申請書(図書館所定用紙)
会館の利用	◆末川記念会館 TEL.075-465-8234 http://www.ritsumeai.ac.jp/mng/gl/suekawa/	末川博名誉総長の生前の書斎を模したメモリアルルーム、京都地方裁判所から移設した貴重な陪審法廷、故白川静名誉教授の研究成果を広く公開している「白川静記念東洋文字文化研究所」、ホール、会議室(事前申込要)、レストランなどがあり、立命館土曜講座も行なっています。研究会や会議にご利用ください。

用 件	窓 口	手 続 き、施 設 紹 介 など
大学院への進学	◆各研究科の事務室 [TEL. P.20参照] または ◆大学院課 TEL.075-465-8195 http://www.ritsumeai.jp/gr/index_j.html	立命館大学大学院では、各研究科において積極的に社会人を受け入れ、働きながらでも学びやすいシステムの導入に努めています。研究科ごとに多様な入試方式を用意しておりますので、大学院への進学に興味のある方は各研究科の事務室までお問い合わせください。
エクステンションセンターの利用	◆エクステンションセンター [衣 笠] TEL.075-465-8297 [BKC] TEL.077-561-2853 [朱 雀] TEL.075-813-8285 http://www.ritsumeai.jp/extention/index_j.html	エクステンションセンターでは、進路に直結する国家資格をはじめ、専門職・キャリアアップのための講座や、学科の特色を活かした多彩な講座を開講しています。立命館大学、立命館大学大学院、立命館アジア太平洋大学、立命館アジア太平洋大学大学院のいずれかを卒業、または修了している方は「エクステンションセンター 校友特別受講制度」が適用されます。 【エクステンションセンター 校友特別受講制度】 ●制度内容 立命館が提携している専門機関で実施される特定の講座を受講する際、割引料金を適用する制度です。 ●対象講座 法曹(司法試験)、公認会計士、公務員、弁理士、税理士、司法書士、日商簿記1級を目指す試験対策講座。講座内容については事前にご確認ください。 ●利用方法 エクステンションセンター窓口へお申し込みください。申込書はホームページからダウンロードできます。 ●提携専門機関 辰巳法律研究所 http://www.tatsumi.co.jp/ 大原学園 http://www.o-hara.ac.jp/ TAC http://www.tac-school.co.jp/
校友サロンの利用	[衣 笠] 国際平和ミュージアムロビー (1階および2階) ◆教育文化事業課(国際平和ミュージアム1階) http://www.ritsumeai.ac.jp/mng/er/wp-museum/	●火～日曜日 9:30～16:30 (休館: 月曜日、祝日の場合は翌日。夏期および年末年始の休館期間ほか) ●2階ロビーにお茶の自販機設置(1階ロビーでの飲食はご遠慮ください) ●国際平和ミュージアム常設展示等を無料でご見学いただけます。 ご希望の方は1階教育文化事業課窓口にお申し出ください。 無料見学は、校友ご本人と同伴の若干名に限らせていただきます。
	[BKC] コアステーション3階ラウンジ ◆コアステーション1階キャンパス事務課	●月～土曜日 9:00～20:00(休室: 日曜日、夏期および年末年始の休暇期間) ●コーヒー等の自販機設置 ●ご利用の際は、コアステーション1階キャンパス事務課へお越しください。 (執務時間: 月～金曜日 9:00～17:30)
	[朱 雀] 朱雀キャンパス: 6階校友ロビー ◆校友会事務局(朱雀キャンパス6階)	●月～金曜日 9:00～17:30(休室: 土・日曜日、夏期および年末年始の休暇期間) ●1階学園本部エリア受付にお申し出の上、6階校友会事務局にお声かけください。 ●校友会事務局にて接遇いたします。コーヒー自販機設置。
○いずれも事前申し込みは不要です。時間外の対応は致しかねますのでご了承ください。 ○衣笠およびBKCの校友サロンは、一般の方や教職員との共用スペースです。校友専用ではないことを何卒ご理解ください。 ○各サロンとも、校友団体の総会等、大勢でのご利用には適しません(おおむね1グループ10名以内でのご利用を想定しております)。 ○夏期および年末年始の休室期間のお問い合わせ、キャンパスマップのご請求等、詳細は校友会事務局へご連絡ください。 ○アクセスマップ http://www.ritsumeai.jp/accessmap/index_j.html 立命館大学校友会事務局(校友・父母課) http://alumni.ritsumeai.jp/ TEL.075-813-8216 E-mail:alumni@st.ritsumeai.ac.jp		

大 学 の 業 務 日 時	
通常の業務日時	月～金曜日 9時～17時30分
通常の休業日	土・日曜日、祝日、夏期・年末年始休暇 ※図書館、国際平和ミュージアム等の休日は別途定めます。

住 所 等 の 変 更 ご 連 絡 先
立命館大学校友会事務局(校友・父母課) TEL.075-813-8216 FAX.075-813-8217 【住所変更専用フリーダイヤル】 TEL.0120-252-094 FAX.0120-252-095 【校友会ホームページからも変更可能です】 https://alumni-ritsumeai.jp/form/change.html

立命館のゼミナール訪問



星野ゼミ (国際関係学部)



星野ゼミ：国際関係学部 星野郁教授



ゼミテーマ：グローバル経済の現状と行方

2011 年、特にニュースで話題となったヨーロッパの金融・経済危機。星野ゼミでは、現在はヨーロッパの金融・経済危機を主軸にタイムリーな経済の話題を取り上げて、世界の経済を多角的に分析しています。

政治や社会、文化と不可分の ヨーロッパ経済から世界経済を理解する

このゼミでは、「リーマン・ショック」を発端としたグローバルな金融危機をふまえた世界経済の行方を研究しています。特に今年は、現在その動向を世界中が注視しているヨーロッパの金融・経済危機を中心に研究を進めています。

ヨーロッパはこれまでどちらかと言えば理想的に描かれてきました。しかし、たしかに北欧は国際競争力も強くて福祉も充実していますが、南欧は今、大きくつまづき、改革を迫られています。ヨーロッパの中でも国や地域によって大きな違いがあり、ひとくくりにはできません。政治や社会、文化のあり方と不可分であるヨーロッパの経済は、多面的な視点からアプローチする必要があります。ヨーロッパは現在、財政赤字と格闘していますが、政府の債務残高は日本の方がヨーロッパ各国のそれを上回っています。ヨーロッパの経済を知ること、ヨーロッパに劣らず深刻な問題に直面している今の日本の経済を認識するきっかけになり、世界の経済を理解する手がかりにもなるのです。

批判的思考で、生きた現実から問題点を捉えて

ゼミでは、その年に一番注目を浴びている経済のトピックを中心に、世界をカバーするようなテキストを使って輪読。同時に、経済の入門書を使って基礎力の向上も図っています。発表を担当するグループは、テキストの内容理解を発表するだけでなく、ディスカッションテーマを用



Interview

意してゼミをリード。オープンゼミナールも貴重な学び合いの機会です。学生はそこでさらに友情を深めているようです。

ゼミ生には、現実の中から問題を捉えて自分なりに理解を深めるようにと指導しています。生きた現実を学んで、社会に出た後具体的な課題に直面した時に、うまくこれに対応できるような力を養ってもらいたいと思っています。視角の多様性と批判的思考を持ち、「なぜそうなるのか」と常に問いつけることを忘れないでほしいですね。

ゼミは人間力を培う場

このゼミのモットーは「よく学び、よく遊び、よく飲む」です。ゼミは全人格的に付き合う場で、ゼミを通して、人との付き合い方や団結力を身につけてほしいと思っています。仲間と一緒に切磋琢磨して一つのことを創り上げることで、友情と人間力が培われていくのではないのでしょうか。常に前向きに自分を高め続けて。そしてやりたいことを見つければ、全力で取り組む。ゼミの活動に熱心に取り組んだ学生ほど、卒業時には、社会性やチームワークなど優れた人間力を身に付けてくれています。

Profile

星野 郁 (ほしの かおる)

国際関係学部教授

1981 年金沢大学法文学部経済学科卒業。1987 年九州大学大学院経済学研究科博士課程単位取得満期退学。九州大学助手、國學院大学経済学部教授を経て、2005 年より現職。専門は、ヨーロッパ経済・金融統合を中心とする世界経済論および国際金融論。



学びも遊びも充実させて「幅のある人間」に

今年は前期にリーマンショック、後期に欧州危機をみっちり学習。海外留学にも積極的で、毎年 3、4 人のゼミ生が海外留学する。「バランス型」と言われる星野ゼミの卒業生たちは、金融関係や商社、メーカーなど幅広い分野で活躍している。

年 2 回のゼミ合宿のほか、月に数度の飲み会が開かれるなど、勉強以外のイベントも豊富。同学年はもちろんのこと、OB・OG との交流も多い。こういったイベントも、学生が人間関係を作り、コミュニケーションを学ぶ場として大きな役割を果たしており、人間力を重視する星野ゼミにとって欠かせないものとなっている。フレンドリーな雰囲気の中にも、先輩と後輩、教授と学生の強いつながりが感じられた。



Student's Voice

「世界を股にかける」目標を達成させ得るゼミ

国際関係学部 3 年生 早川隆章 さん



ゼミで今年扱ったテキストは主に 3 冊。これらを元に、学生が中心となってグループプレゼンテーションやディスカッションを行ないます。企画段階から学生が行なう「フリーディスカッション」というシステムでは、「1 から 100 まですべてを作ること」の難しさを学びました。座学だけでなくアウトプットを重視し、「人間力」を養う星野ゼミは、「世界を股にかけて仕事をする」という私の目標を達成させるには申し分ありません。勉強、遊び、そして人として大事な人間力を教えてくれるゼミです。



守ゼミ (経営学部)



守ゼミ：経営学部 守政毅准教授



ゼミテーマ：中国をめぐる日中企業の経営戦略

現在最も勢いのある市場の一つである中国市場。守ゼミでは、現場の声を最大の題材にして、中国市場を舞台にした日中企業の発展の実態を経営戦略の視点から研究しています。



Interview

新しい市場に生かされるアジア発の経営学を

「グローバル市場の縮図」と言われる中国。中国をめぐる議論では、その市場構造をうまく捉えながら、複眼的な視点で企業ビジネスを理解しなくてはなりません。このゼミでは、社会主義という体制の中で計画経済から市場経済へと移っていく転換を大きな流れとしながら、中国における日中企業の経営戦略を分析しています。

中国などアジアの新興国市場に対する日本企業の国際経営戦略は多くの課題を抱えています。また、中国、韓国など新興企業の国際的な競争力が増す中で、その経営も十分には解明されていません。アジアビジネスの現場観察を続けながら新しい「アジア発の国際経営」を理論構築し、その理論を再び現場にフィードバックさせることに、この研究の意義があります。

現場を肌感覚で知る

前期では、論文を使って中国経済について理解を深めたいと、在中国日系企業の事業事例を使って、中国市場における企業戦略のあり方を考察しました。後期は、学生自身が研究対象の企業を選び、その企業が中国の産業構造、市場競争の中でどのようなビジネスを営んでいるのかを経営戦略の視点から分析しています。

夏休みには、現地調査旅行として中国・上海市の日系企業を企業訪問し、工場やオフィスの見学、現場担当者へのインタビューなどを行いました。実務家の生の声を聞くことで、国際的に活躍するための

意識を形成し、現地に滞在することで、ビジネスに留まらない違和感や共感を肌感覚で知ってもらうのがねらい。日本人学生は高度成長を続ける中国ビジネスの躍動感から刺激を受け、中国人留学生は日本に暮らしていても分からない日本企業の戦略やマネジメントの独自性、中国ビジネスの実状を理解したようです。

現場観察も交えながら、理論を用いて戦略分析する中で、企業の競争力構築の特徴を見る目が養われていく。ロジカルに企業研究ができることは、国際ビジネスで進路を決める時にも役立つと思います。

海外も視野に入れて活躍の場を求めよう

活躍の場をアジアに広げるために、学生には中国留学を強く推奨しています。中国社会で長期間生活と学習をすることで、多様な文化的歴史的相違を理解し、高度な外国語能力と、国際ビジネスの理解力、創造力を身に付けることで、ビジネスを架橋できる大きな財産を持ち帰れるでしょう。留学にはさまざまな困難が付き物ですが、それを乗り越えて得られるものこそ、生涯自分を支える無形の財産になると信じています。

Profile

守 政毅 (もり まさき)

経営学部准教授

1999 年九州大学経済学部卒業。2004 年九州大学大学院経済学府産業・企業システム専攻単位取得中退、同年九州大学大学院経済学研究院学術特定研究員。2006 年立命館大学経営学部助教授を経て現職。博士（経済学）。



ゼミを通して、日本にしながら異文化体験

経営学を基礎から学びながら、ビジネスの知識と実践力を鍛える守ゼミ。日中ビジネスの最前線に携わる方を講師に招いて中国ビジネス事情を聞くなど、「中国の今」を学ぶことができる。

ゼミ生の 3 分の 1 は中国人留学生。異なる文化やロジックを持った学生たちが一つのテーマで自由に議論を重ね、試行錯誤しながら互いの考えをすり合わせ、理解し合っていく。コミュニケーション力を向上させるだけでなく、日本にしながら異文化体験できる環境が、守ゼミの中にはある。前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力といった「社会人基礎力」が身に付いたと実感する学生も多い。



2・3 年生

前期 中国ビジネスに関する基礎学習

文献学習と討論

夏季休暇中、中国・上海市でのゼミ現地調査旅行

後期 中国市場をめぐる日中企業 7 社の経営戦略に関するグループ研究

学内ゼミナール大会での研究発表

Schedule

Student's Voice

学年、国籍を超えて強い問題意識持つ学生集まる

経営学部 3 年生 篠原 玲 さん



今年度の守ゼミは 2、3 年生の合同で、日本人学生に加えて、中国と韓国の留学生も参加。学年や国籍を超えて、グローバルビジネスに強い問題意識を持つ学生が集まるのが特徴です。21 世紀に入ってから、中国は目覚ましい高度成長を果たしました。今後、日本企業はこれまで以上に中国など新興国市場へのシフトを進めるでしょう。私は、中国の乳酸菌飲料市場で売上高シェアのトップを占める上海ヤクルト社を対象に、その経営戦略についてさらに深く研究していくつもりです。



SPORTS スポーツ

問い合わせ先：スポーツ強化センター
075-465-7863

✓ ホッケー部

全日本男子ホッケー選手権大会で
3年ぶり3度目の優勝

(12月18日 岐阜県グリーンスタジアム)

全日本男子ホッケー選手権大会の決勝で、ホッケー部男子が社会人王者名古屋フラーテルに2対1で勝利し、3年ぶり3度目の優勝を果たした。

ホッケー部男子は、2011年10月の日本リーグの優勝に続く、日本一となった。



女子陸上競技部

第30回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会で女子陸上競技部の学生が活躍

(1月15日 京都市)

第30回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会に立命館大学から14名の学生が出場した。滋賀県代表として竹中理沙さん(経営4)が、4区で13人を抜く走りを見せ区間賞を獲得。福岡県代表の田中華絵さん(経済4)が、最終9区で区間3位と快走し、チームを入賞に導くなど、活躍を見せた。



4区で区間賞を獲得した竹中理沙さん

水泳部

ドイツ・オープンで乾友紀子さんが出場する
日本代表が「チーム」、「デュエット」で優勝

(1月22日 ドイツ・ボン)

シンクロナイズドスイミングのドイツ・オープンで、各種目のフリールーティン(FR)決勝が行なわれ、乾友紀子さん(経営3)が出場する日本代表が「チーム」の競技で優勝を果たした。「デュエット」の競技でも、乾友紀子さんと小林千紗さん(校友・2010年経済卒)ペアが優勝に輝いた。

日本代表チームは今年のオリンピック出場をかけ、4月にロンドンでの最終予選に挑む。

立命館宇治高等学校

サッカー日本代表(A代表)に
立命館宇治高等学校3年生の
久保裕也さんが初選出

(2月24日 大阪市長居陸上競技場)



汐崎澄夫・立命館宇治高等学校長に
日本代表選出の報告を行なう久保裕也さん

2月17日(金)、日本サッカー協会が「キリンチャレンジカップ2012」アイスランド戦の日本代表25名を発表し、立命館宇治高等学校3年生の久保裕也さんが初選出された。久保さんは、産・地・学で進めるSAP(スカラー・アスリート・プロジェクト)※の生徒で、第91回天皇杯全日本サッカー選手権大会では準決勝、決勝と得点をあげるなど、所属チームの京都サンガF.C.を準優勝に導く原動力となった。2月24日(金)に行なわれたアイスランド戦での出場機会はなかったが、今後も、京都サンガF.C.や、日本代表での久保さんの活躍が期待される。

※京セラ株式会社、株式会社京都パープルサンガ、学校法人立命館、立命館宇治中学校・高等学校が、「世界水準のプロ・サッカー選手」の育成を目指し立ち上げたプロジェクト。グローバルな舞台で活躍する世界水準の人間、高い倫理観と道徳心を持った世界的なプロ・トッププレーヤーの育成を目指している。

CULTURE/ART 文化・芸術

問い合わせ先：学生オフィス
075-465-8167

かるた会

同校対決を制し、楠木早紀さんが、
競技かるたクイーン位決定戦8連覇を達成

(1月7日 近江神宮勤学館)

第56期かるたクイーン位決定戦が開催され、楠木早紀さん(産社4)が、本多恭子さん(スポーツ健康科学2)との同校対決を制し、8連覇を果たした。

楠木さんは、今回の勝利で、自身の持つクイーン位決定戦の連勝記録を16に伸ばした。



クイーン位を競う楠木さん(左)と本多さん(右)

将棋研究会

将棋研究会が「第42回全日本学生将棋
団体対抗戦」にて2年連続7回目の優勝

(12月25日～27日 三重県四日市市)

第42回全日本学生将棋団体対抗戦において、将棋研究会が2年連続7回目の優勝を果たした。東京大学と8勝1敗で並ぶ厳しい戦いとなったが、勝ち数で上回り優勝を勝ち取った。

なお、2011年12月24日(土)に開催された2011年度学生王将戦において、中川慧梧さん(産社1)が優勝を果たし、荒井祥太さん(生命4)が3位に入る好成績を挙げた。



珠算部

全国珠算競技大会クリスマスカップ
2011 団体の部で準優勝

(12月25日 さいたま市文化センター)

全国珠算競技大会クリスマスカップ2011の団体の部にて、珠算部が準優勝に輝いた。

全国珠算競技大会クリスマスカップは、年齢等の出場制限がないため、そろばんの強豪が全国から集まる日本一規模の大きい珠算競技大会である。団体の部ではチーム3名の合計得点で競われる。

囲碁研究部

第10回全日本学生囲碁王座戦で、
田中伸幸さんが優勝

(12月20日～22日 東京・銀座インターネットフォーラム)

全日本学生囲碁王座戦は、各地区の予選を通過した選手と、同年度の学生本因坊、学生十傑戦優勝者、女子学生代表の計16名によるトーナメント戦。接戦を勝ち抜き、田中伸幸さん(政策3)が見事に優勝を果たし、学生チャンピオンとなった。



王座戦で優勝した田中伸幸さん

ダブルダッチ

ダブルダッチサークル「Fusion of
Gambit」が世界大会にて準優勝

(12月4日 ニューヨーク・アポロシアター)

ダブルダッチの世界大会『DOUBLE DUTCH HOLIDAY CLASSIC』が開催され、本学のダブルダッチサークル「Fusion of



世界2位となりトロフィーを掲げる
「Ballon D'or」のメンバー

Gambit」のチーム「Ballon D'or」が日本代表として出場し、準優勝を果たした。

また、3位には同じく日本代表として本学から出場した「dig up treasure」のチーム「EO-CENCE」が入った。

ロボット技術研究会

～機械は人間の手を超えられるか～
「第1回キャチロボバトルコンテスト」を開催

(12月17日 びわこ・くさつキャンパス)



ロボット技術研究会が、「第1回キャチロボバトルコンテスト」を開催した。

この大会は、学生の技術レベルの向上支援、本気で「ものづくり」に取り組む姿勢を応援する目的で創設され、初の開催となる。135cm×135cm・深さ100cmの競技フィールドに入っているワーク(チョコレート菓子)を自作のロボットを用いてキャッチし、シューティングボックスに3分間にどれだけ多く入れられるかを参加4大学が競い合った。

結果は、機動性のあるロボットを製作し、最も多くのワークをシューティングボックスに入れた豊橋技術科学大学が優勝をおさめた。大会終了後も、参加者や審査員との情報交換が活発に行なわれ、学生同士やロボット製作に特徴を持つ企業と学生との連携も深まる大会となった。

SWEETBOYS、CooL

滋賀県産の食材を使った
「びわ湖こだわり弁当」を
学生と滋賀県食品関連企業が共同開発

立命館大学の学生と、滋賀県内の複数の食品関連企業が連携し、近江牛、近江米など滋賀県産の食材のみを使った弁当「びわ湖こだわり弁当」を開発した。

この企画は、近江牛を販売する株式会社サ

カエヤ(草津市)の「近江牛を身近にしたい」という思いに、料理サークル「CooL」とお菓子作りサークル「SWEETBOYS」が賛同し、2010年8月よりスタートした。検討を重ねる中で、学生や市民にとって身近なコンビニ弁当として開発・販売することを決定。2つの学生サークルが中心となり、びわこ・くさつキャンパス内で学生や教職員ら約500人に牛肉の好みの調理法やコンビニ弁当に望む要素などについてアンケートを実施した。弁当には近江牛の他に、地元で採れたほうれん草、水菜、にんじん、椎茸、近江米などを使用した。

「びわ湖こだわり弁当」は1食880円で、2011年12月16日(金)～18日(日)にかけて限定5000食を滋賀県内のローソン全店にて販売され、大好評のうちに完売した。



♡ ボランティア

滋賀県高島市で、学生たちが
雪かきボランティアを実施

(2月9日～12日 滋賀県高島市)

滋賀県高島市で、学生たち15人が「雪かきボランティア」を実施した。昨年に引き続き、3回目となる今年は、高島市社会福祉協議会の協力の下、高齢・過疎化の進む今津町棕川、朽木能家、雲洞谷地区などで作業に取り組んだ。

学生たちは、お寺や集会所周辺の雪かきやバス停の待合室周りの雪かきの他、朽木東小學校で児童たちとの交流なども行なった。



スポーツ健康科学部 岩手県大船渡市の中学校で 体力テスト、トレーニング指導を実施

スポーツ健康科学部の家光素行准教授をはじめとした教員4名、学生6名の計10名のメンバーが2月12日(日)から13日(月)、岩手県大船渡市立第一中学校において1、2年の生徒約200人を対象に持久力、柔軟性、筋力などを測定する体力テストと、体力向上のためのトレーニングプログラムの指導を実施しました。

大船渡市の多くの中学校は東日本大震災の津波で深刻な被害を受け、被害を免れた中学校もグラウンドに仮設住宅が建設されているため、生徒は十分なクラブ活動ができず、運動能力の低下が心配される状態にあります。今回の取り組みは、限られた施設の中でも効果的な学校体育が実施できる新たなカリキュラムを提案するとともに、体力テストの考案等を行なうことを目的としており、文部科学省「復興教育支援事業」にも採択されています。今後は3月に測定データを基にした体力テストのフィードバックなどの実施を予定しています。



学生がプロデュースした 「春のカクテル&スイーツ」が完成 —3月1日からホテル日航プリンス 京都にて販売開始—

「コーオブ演習(※)」に参加する大学院生と学生11名が、ホテル日航プリンス京都の協力のもと、同ホテルをPRするための商品開発を行ないました。

若者が気軽に楽しめる商品を学生の視点で考案してほしいというホテルからの課題に対して、参加学生が2011年4月から2012年1

月にかけて開発に取り組みました。ホテルスタッフ、栄養学の教員、京都の寺社の協力も得ながら、品評会等での事前調査、アンケート調査に基づいたターゲット層の選択、商品コンセプトの設定、材料の選定、ネーミングまでを行ない、2011年12月11日(日)に開催された最終成果発表会を経て、商品化が決定しました。

美容と健康ノンアルコールカクテル「成美—NARUMI—」、恋愛をイメージした甘酸っぱいカクテル「結桜〜ゆいざくら〜」、そして高級感あふれる魅惑のスイーツ「春の宝石」の3品が完成し、「春のカクテル&スイーツフェア」企画の商品として、3月1日(木)から4月30日(月)にかけてホテル日航プリンス京都にて販売されます。



※「コーオブ演習」について

学生たち複数名がチームとなって取り組むインターンシップ・プログラムの一つ。半年間に及ぶ長期で高度な産学連携の取り組みにより単位授与を行なうプログラムで、学年や学部を超え、文理連携などのチーム編成を行ない、企業が抱える現実の課題に取り組む。

衣笠キャンパス周辺の住民の 皆さんと防災イベントを実施

2月12日(日)、衣笠キャンパスが所在する京都市北区等持院北町の住民の皆さんと、映像学部、歴史都市防災研究センター、サービスラーニングセンターのプログラムなどに所属する学生・教員が防災イベントを実施しました。

防災に関する本学の教育・研究活動の成果を組み合わせた企画で、「実践避難シミュレーション訓練」「エリアワンセグ放送による災害情報の提供」などが行なわれました。

「実践避難シミュレーション訓練」では等持院北町の30のポイントに設置された課題をクリアしながら、住民が自宅から避難所である立命館大学までを移動。参加者は歴史都市防災研究センターの研究員らが作成したマップを片手に、災害時に起こりうる現象をイ

メージしながらゴールを目指しました。

その後、開かれたエリアワンセグの説明会では、「ホワイトスペース特区」として衣笠キャンパスで放送がスタートしたワンセグ放送での災害情報提供について、実演を交えながら紹介。参加者は各自の携帯のチャンネルを合わせ、放送内容を確認しました。



ワンセグ放送の説明会

超高齢化社会における介護の問題を 提起する 上野千鶴子特別招聘教授 着任記念学術シンポジウムを開催

2011年12月23日(金)、衣笠キャンパスにて、2012年4月より上野千鶴子氏が先端総合学術研究科の特別招聘教授に着任されることを記念し、シンポジウムを開催しました。



冒頭では、川口清史・立命館総長が「先端総合学術研究科は生存学の研究拠点として、2007年からは文部科学省グローバルCOEプログラムにも採択され、成果を積み重ねてきた。そこに上野先生が加わることで、ジェンダー、生存学研究の新しい飛躍が本学から生まれることを期待している」との歓迎の言葉を述べました。

学術講演では、上野氏が、「良い介護とは、介護する側、される側の相互にとって納得できる行為でなければならない。そのためにも、介護される側、つまり『当事者』の主権(ニーズ)を理解した上での制度設計やケアの実践が重要である」と語りました。また、立命館大学で始まるこれからの教育・研究について、「先端総合学術研究科には、介護や女性学の現場を持った研究者や社会人学生の方がたくさんいる。ぜひ、現場の問いを抱えた人にツールを与えられる存在になりたい」と、決意を述べました。

薬学部の前田大光 准教授が SPP/JPP Young Investigator Awards (国際賞)を受賞

薬学部所属する前田大光准教授が2012年のSPP/JPP Young Investigator Awards(国際賞)を受賞しました。



SPP/JPP Young Investigator Awardsは、ポリフィリンやフタロシアニンを対象とした分野で優れた業績をあげている40歳以下の若手研究者に贈られる国際賞です。2000年より隔年で数名が採択されており、2012年は前田准教授を含む2名が採択されました。

2011年度 産学協同アントレプレナー教育 プログラム「フォーラム・交流会」を開催

2月2日(木)、びわこ・くさつキャンパスにて、2011年度 産学協同アントレプレナー教育プログラム「フォーラム・交流会」を開催しました。

本プログラムは、起業家に代表される「自立的で創造的な人材」「起業家精神(アントレプレナーシップ)に満ちた人材」の輩出を目的とし、びわこ・くさつキャンパスの文理6学部共通で行なう教育プログラムで、2011年度は2回生から4回生まで約300名の学生が受講しました。

成果報告会では、企業でインターンシップを体験した学生からの成果報告、2011年度立命館大学学生ベンチャーコンテストで最優秀賞を受賞した学生からビジネスプランの紹介などが行なわれました。

基調講演では、株式会社モンベル代表取締役会長兼CEOの辰野勇氏が、ご自身の起業経験や企業経営に必要なことを語り、学生にエールを送りました。



講演する辰野勇氏

シンポジウム「21世紀の大学を語るⅣ ～グローバル採用時代：問われる 大学の人材育成～」を開催

1月25日(水)、朱雀キャンパスにて、立命館大学、関西プレスクラブ、京都教育懇話会が共催するシンポジウム「21世紀の大学を語るⅣ～グローバル採用時代：問われる大学の人材育成～」を開催しました。

本シンポジウムには、堀場製作所会長兼社長の堀場厚氏、立命館副総長(前立命館アジア太平洋大学学長)のモンテ・カセム氏、京都大学国際交流推進機構長の森純一氏、パナソニック理事社会文化グループ・グループマネージャーの小川理子氏が参加。国籍を問わない急激なグローバル採用が進む中、日本の大学は、次世代の教育、人づくりをどう考え、海外の大学とどう戦うのか、日本の大学に展望はあるのかなど、大学を取り巻く環境をテーマに論議を深めました。

会場には、マスコミ関係者、企業、行政、学校、学生、高校生、一般の方など、様々な業種、職種の方々約280名が参加しました。



基調講演を行なう堀場厚氏

「みなくさまつり ～南草津から被災地へ～」を開催

2011年12月11日(日)、JR南草津駅西口周辺道路にて「みなくさまつり～南草津から被災地へ～」が開催され、8,000人の参加者が様々なステージイベントやゲーム、飲食ブースを楽しみました。

「みなくさまつり」は、地元の自治連合会、立命館大学、草津商工会議所、草津市が南草津地域の更なる発展を願い、また地域の方々に南草津の新しい魅力を発見してもらうという趣旨のもと、共同で開催しました。今回は、東日本大震災の発生を受け、当初開催予定で

あった2011年3月12日(土)から延期となっていたことを踏まえ、「南草津から被災地に元気を届けよう」をサブテーマに、募金箱の設置や、復興支援市、被災地での支援活動についての報告会も行なわれました。

地域の方々とともに、本学の学生もステージやスポーツ広場でイベントを実施し、会場を盛り上げました。



スポーツ健康科学部の学生によるクイズ大会の様子

NEWS

立命館大学の公式 Facebookページを開設しました。

立命館大学の公式Facebookページを開設しました。こちらでは、「Creating a Future Beyond Borders ～自分を超越る、未来をつくる～」をテーマに、立命館の“今”を、写真や動画、ライブ中継などを使ってお届けしていきます。



●アカウント名
立命館大学 / Ritsumeikan University



立命館大学 /
Ritsumeikan University
(Facebookモバイル)

東日本大震災 私たちにできること

メール 災害復興支援室 ▶ 311fukko@st.ritsumeai.ac.jp
HP 東日本大震災 私たちにできること ▶ http://www.ritsumeai.ac.jp/rs/20110311

立命館HPの「東日本大震災 わたしたちにできること」ページでは、学園が取り組む支援の概要、災害復興支援に関するお知らせ・レポート、取り組みMAPなど立命館の復興支援に関わる情報を掲載しております。ぜひ、ご覧ください。

● 災害復興支援に関わる主な立命館大学の取り組み一覧（一部抜粋、日付順）※ その他、詳しくはHP「東日本大震災 私たちにできること」からご覧いただけます。

時 期	取り組み名	実施主体	内 容
12/16、2/13	立命館未来プロジェクトフォーラム	災害復興支援室	震災に関わって大学全体の教育・研究の方向性について議論するフォーラムを継続的に開催しています。第6回「東日本大震災を受けて、環境・食料を考える」、第7回「東日本大震災後の科学と技術—人間のための総合科学の構築をめざし—」のフォーラムを開催。各回20名以上の教職員・学生・一般の方が参加し、各回のテーマを専門とする研究者の講演およびディスカッションを行ないました。
1/9	宮古市重茂「仮設集会所の建設プロジェクト—ODENSE—」竣工式	理工学部・宗本晋准教授	宗本晋作・理工学部准教授と学生31名が約5ヶ月かけて建設した仮設集会所が宮古市の重茂地区に完成し、地元の人たちを招き竣工式を開催しました。竣工式では関西から現地入りしたミュージシャンたちによる音楽ライブも開催し、地元の方々が多数集まりました。
1/23～29	東日本・家族応援プロジェクト in 二本松2012	応用人間科学研究科	応用人間科学研究科が実施する復興支援の取り組み。「家族支援」「支援者支援」を目的としたセミナー・展示を行ないました。これまで青森県むつ市、岩手県遠野市、福島県福島市でも開催しています。
2/1	東日本大震災連続フォーラム第一弾「震災から何を学ぶか—3.11から見た日本社会—」	産業社会学会	産業社会学会では、東日本大震災に関連し、「企画研究」の講義をはじめ、学生、院生、教員が活動や研究に取り組んできました。フォーラムでは、これらの取り組みの中から、被災地から京都へ避難してきた児童の学習支援に関する調査の発表の他、院生・学部生による被災地ボランティア活動など、これまでの学びを活かした教育・調査研究成果の報告を行ないました。
2/4、11、18、25、26	連続ワークショップ「減災社会のための地域デザイン」	サービスマーケティングセンターと草津未来研究所の共催	日常の問題としての防災・減災についての気づきの場を創出するワークショップを滋賀県草津市の地域の方々を対象に開催しました。
2/5～10	後方支援スタッフ第3便「遠野便」（ボランティアバス）	災害復興支援室	学生スタッフ15名と引率職員2名が、岩手県遠野市文化課が実施する復興支援活動「三陸文化復興プロジェクト」に参加し、被災した学校図書館への献本や、公文書の修復に取り組んだ他、被災した自治体の教育委員会が実施する小中学生の自習活動の支援ボランティアを行ないました。
2/12	シンポジウム「地域分散型被災者支援を考える」	政策科学部・研究科	村田崇・南相馬市副市長、飯田市・牧野光明市長をお迎えし、福島第一原発事故による被災自治体である南相馬市、被災者受け入れ自治体である長野県飯田市、京都府のそれぞれの実情や取り組みを交流することを通じて、被災者支援のあり方を考えました。
2/12、13	岩手県大船渡市の中学校で体力テスト、トレーニング指導	スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学部の教員4名、学生6名、職員2名が大船渡市立第一中学校および大船渡中学校を訪問し、実際に学生を対象とした簡易体力測定やトレーニングのレクチャーを実施し、教員を対象とした説明会を開くなど、生徒の運動・健康面の向上を支援に取り組みました。この取り組みは文部科学省「復興教育支援事業」に採択されています。
2/15、16	東日本大震災復興支援上映プロジェクト in 京都	映像学部	京都造形芸術大学との共催で、東日本大震災を題材にしたドキュメンタリー映画を上映する「ともにある Cinema with Us」を開催しました。NPO法人・山形国際ドキュメンタリー映画祭が主催する取り組みで、津波や福島第一原子力発電所の事故の惨状や復興に向けた人々の絆を描いた映画を衣笠キャンパスで上映しました。収益は、被災地での映画上映に使用される予定です。
2/19～24	後方支援スタッフ第4便「宮古便」（ボランティアバス）	災害復興支援室	学生スタッフ12名、引率職員2名が、宗本晋作・理工学部准教授の簡易集会所建設の際にご縁ができた岩手県宮古市社会福祉協議会のコーディネーのもと宮古市内の仮設住宅への物資配布、傾聴活動のボランティアを実施しました。
2/22～24	「特別支援教育の再生と創造に向けて」	応用人間科学研究科	応用人間科学研究科 谷晋二教授と院生の大西康太さんが仙台市立寺岡小学校を訪問し、特別支援教育にかかわる教員とのミーティングや授業参観と教員とのコンサルテーション、障がいのある子どもを持つ家庭への訪問とコンサルテーションなどの活動を実施しました。

● 今後の主な取り組み一覧（2月24日時点）※ 詳細やその他の情報はHPにて順次公開しております。

時 期	取り組み名	実施主体	内 容
2/26	トークセッション「大学と震災とボランティアセンター」	サービスマーケティングセンターと草津未来研究所の共催	ワークショップ「減災社会の地域デザイン」の関連企画としてトークセッション「大学と震災とボランティアセンター」を開催します。
3/1～6、3/22～27	後方支援スタッフ第5便、第6便（ボランティアバス）	災害復興支援室	各便に学生スタッフ15名が参加予定。復興に向け前進しようとする東北・被災地の方々を応援するため、学生たちが現地でのボランティア活動を実施します。

取り組み MAP 更新中！



30年の時を超え、幻の洞窟を解明 ～伝統を引き継ぎ、新たな歴史を築いていく～

岡坂 遼 さん（映像学部3年生）
立命館大学探検部2011年度副将・「一風洞」調査のチームリーダー

1982年、滋賀県多賀町の霊仙山で立命館大学探検部が発見したが、その後所在が不明となり地元でも知られていなかった幻の洞窟「一風洞」。その洞窟を30年の時を超え、同じ探検部の学生6名が発見し、全貌を解き明かした。調査チームのリーダーを務めたのが岡坂遼さんだ。

中学生の頃には廃坑探検を体験し、立命館守山高等学校在学時には、すでに洞窟探検を始めていたという岡坂さん。当時から誰も見たことのないものを発見、解明することに魅力を感じていた。大学では学術的に探検を学びたいと探検部に入部し、ある時、知り合いの多賀町役場の方から「一風洞」の話聞いた。「30年間見つかっていない洞窟。探検部の先輩からの宿題を自分たちが解明したい」と、部からメンバーを募って2010年6月に調査を開始した。

調査では、30年前に先輩が残した報告書と地図を参考に洞窟を探した。コンパスを見て、山の地形と地図を照らし合わせる中で、洞窟の位置が違っていたことに気付く。地図を見直して、正しい位置を特定し、報告書の特徴と一致する竪穴洞窟を発見した。

しかし、発見してからが真の挑戦だった。洞窟の探検は危険と隣り合わせ。安易に中に入る訳にはいかない。岡坂さんは、メンバーの安全を保障するために、ロープの技術を1年間勉強し、正しい技術を身に付けた。他のメンバーもそれぞれ、生物調査のための採集訓練、測量調査のために別の洞窟で測量訓練を行なうなど、知識と技能の習得に努めた。「一人で全部できる必要はありません。個々のレベルアップがチームの安全や新しい発見につながります」と岡坂さんは話す。

2011年10月に満を持して、洞窟の内部や周辺の調査に挑んだ。準備はしていても、実際に生物や化石を見つけ

30年前に探検部の学生が記した「一風洞」の報告書と地図

た時、すぐに種類を特定できるわけではない。分からない生物や化石は写真を撮り、持ち帰るなどして、インターネットや文献での調査を行なった。また、授業を受けていた骨考古学の教員、学芸員の方へ相談し、分析を進めた。そうした調査・分析の結果、希少種のハコネサンショウウオ、ニホンジカの全身骨格、そして洞内生物の生物相を見事に解明した。

「“探検”には探して検査するという意味があります。現地での探索だけではなく、発見したものを机上で調査・分析し、成果を報告しないと意味がありません」と岡坂さん。映像学部での勉強の中で、自分の発見や考えを分かりやすく人に伝えることの大切さを学んだと言う。新聞各社への成果の発信、多賀町立博物館での調査成果の展示、展示会での発表などを通じて、広い人脈や自分たちだけでは気付かなかった新たな視点を得ることができた。

立命館大学探検部の強みを、「常に新しいことに挑戦していく“開拓心”」です。実際にやってみると、予想外のことも起こります。そこで無知な自分に気付き、仲間と一緒に課題を解決していく魅力があります」と話す。将来の夢は、子どもたちの自然教育や山村留学に携わり、未知のものに触れ、解明する楽しさを後輩たちに伝えていくこと。岡坂さんの未来への探検はまだ始まったばかりだ。



ロープ設置を終え、「一風洞」から出る岡坂さん



発見したハコネサンショウウオ

校友会・グループ インフォメーション				
校友会・グループ		日 時	会 場	問い合わせ先
第6回立命寄席		4/7 (土) 18:30	天満天神繁昌亭	校友会事務局 075 (813) 8216
奈良県北部校友会総会		4/22 (日) 16:00	ホテル日航奈良	寺田 惇 090 (5971) 9752
奈良県校友会総会 (奈良県校友会天理わだつみ会総会を兼ねる)		5/12 (土) 14:00	天理教第38母屋	福井 徳丞 0744(22)1697
愛知県校友会東三河支部総会・講演会・懇親会		6/2 (土) 18:00	ホテルアソシア豊橋	井上 博善 (職) 0532(53)7211
ウリ同窓会60周年記念総会・懇親会		6/2 (土) 16:00	ホテルグランヴィア京都	申 俊雨 (職) 06(6352)1166
高知県校友会総会		6/9 (土) 18:00	高知会館	平井 雅章 088(893)3410
経営学部50周年校友会10周年記念式典・記念講演会・祝賀会		11/17 (土) 15:00	ハイアットリージェンシー京都	経営学部事務室 077(561)3941

校友消息 (判明分)					BOOKS	
受賞 2011年度大内賞 桑原廣美氏 (‘71法)	田澤秀幸氏 (‘76法) 京都中央信用金庫常務理事 2011年12月1日就任	山田訓史氏 (‘73経済) (株) 清水銀行代表取締役会長 4月1日就任予定	深井純一氏 (立命館大学名誉教授) 1月27日ご逝去。70歳		◆稲葉克夫氏 (‘62院文) 『私の落穂拾い』 北方新社＊1619円+税	◆八田真太氏 (‘02経済) 著 『超萌大飯話』 世界図書出版公司
第4回ものづくり日本大賞 (内閣総理大臣賞) 野澤 有氏 (‘73理工)	門川大作氏 (‘74法) 京都市長 2月25日2期目就任	訃 報 加藤隆平氏 (立命館大学名誉教授) 2011年12月14日ご逝去。 92歳	兜森勲夫氏 (‘67法) (秋田県校友会会長、校友会幹事) 2月15日ご逝去。69歳		◆佐藤豊行氏 (‘71法) 『ちょっぴり映画 政治 奉仕』 自費出版	◆山寄泰正氏 (‘61院法) 『清盛・義経 ゆかりの人と伝承地』 ふたば書房＊1429円+税
就 任 (内定含む) 三田周作氏 (‘88産社) (株) 近畿日本ツーリスト 中国四国代表取締役社長 2011年9月1日就任	狭間恵三子氏 (‘82文) 堺市副市長 4月1日就任予定	蟹江嘉信氏 (‘52経済) (校友会顧問) 1月20日ご逝去。82歳		◆船場弘章氏 (‘85法) 『こんにちは、ディケンズ先生』 近代文藝社＊1200円+税		
						

新校友歓迎会のお知らせ (下記以外にも各地で新校友歓迎会が開催予定)				
場 所	日 時	企画名	会 場	問い合わせ先・参照URL
東 京	6/23 (土)	関東エリア新校友歓迎会	TOKYO MAIN DINING (JR 渋谷駅徒歩5分)	HP http://alumni.ritsumeijp/reconnect/ ※上記URLよりお申し込みいただけます。 
名古屋	6/16 (土)	東海エリア新校友歓迎会	SAROS. (サロス) (地下鉄矢場町駅徒歩5分)	
大 阪	6/23 (土)	関西エリア新校友歓迎会	カフェラ ポエム 茶屋町 (JR 大阪駅徒歩5分)	

お知らせ	立命館大学入学式参観について 立命館大学入学式は2012年度より各キャンパスでの開催となったため、これまで実施しておりました校友の入学式参観は執り行なわない運びとなりました。何卒ご理解のうえ、ご了承くださいませようお願い申し上げます。	お詫びと訂正 りつめい247号P20～21「『オール立命館校友大会2011 in京都』開催報告」において、飛鳥井雅和校友会本部副会長のご卒業年を1969年と掲載しましたが、正しくは1964年の誤りでした。ここに訂正し、深くお詫び申し上げます。

立命館大学国際平和ミュージアム企画展のご案内

2012年度春季特別展		第72回ミニ企画展示	第73回ミニ企画展示 開設20周年特別企画	学生企画
「放射能と人類の未来」 東日本大震災は津波による未曾有の被害をもたらしたのみでなく、福島原発の事故により放射性物質が拡散し、健康や環境への影響は大きな不安を与えています。本展では、今後の日本を生きていく上で必要となる「放射能リテラシー」について、より深く考えていただくことを願い開催します。		平和のメッセンジャー ある軍国少年の歩んだ道 軍国少年時代を経て平和の尊さに目覚め、現在もその大切さを伝え続けている古賀哲夫さんの足跡をたどり、戦争と平和について考えます。	わたしたちにできること ～震災1年を振り返って 東日本大震災の発生を受けて、夫々の立場から活動した立命館大学生の取り組みを紹介する連続企画。震災復興の現場で見たこと、感じた課題、そして生活や地域社会の再建に向けて、学生たちが紡ぎ出す希望や関係性の構築を、学生自身の手で表現した展示です。	 スリランカからの応援メッセージ (「スリランカからの贈り物～平和の祈りの木を咲かせよう～」)

会 期	開 館 時 間	休 館 日	観 覧 料
2012年度 春季特別展	午前9時30分～午後4時30分 (入館は午後4時まで)	月曜日 (祝日の場合はその翌日)、祝日の翌日	一般400円 (350円) / 中・高生300円 (250円) / 小学生200円 (150円) () は20名以上の団体料金 / 障害者手帳をお持ちの方 (介護者1名を含む) は無料
第72回 ミニ企画展示			常設展示 (地階・2階) は左記展示期間以外でも見学することができます。
第73回 ミニ企画展示 開設20周年 特別企画			

- 「放射能と人類の未来」
5月15日 (火) ～ 7月27日 (金)
- 「平和のメッセンジャー ある軍国少年の歩んだ道」
3月28日 (水) ～ 4月15日 (日)
- 「わたしたちにできること～震災1年を振り返って」
●スリランカからの贈り物～平和の祈りの木を咲かせよう～
4月20日 (金) ～ 5月20日 (日)
- 震災後1年。被災地、気仙沼から同世代へ (仮)
5月26日 (土) ～ 6月17日 (日)
- 被災者×ボランティア? いいえ、宮城のおっちゃんおばちゃんこども×京都の学生
6月23日 (土) ～ 7月15日 (日)

3月 桜の時期と共に、思い出すのは学び舎からの旅立ち。

学齢のシステムにより、6・3・3・4年の学園生活の中で級友と共に喜怒哀楽を語り、学問への憧憬、人生、社会の真実を求めて議論し、校庭のベンチで、クラブのボックスで、時代により、鴨川の河畔で、御所の芝生で語り合った。五十数年前も、青年の魂には同じ思いが巡っていた。そして今、同じ学部の同窓会、同じクラブの懇親会で、青年時代の苦悩を、また壮年時代の生きがいを雄弁に語る。そんな仲間との出会いを大切にしていほしいものです。校友会では、毎年、全国校友会を開催し、各学部では同窓会を企画しています。卒業生は32万人に。この校友会報誌「りつめい」は年4回、毎回16万部を全国の校友にお届けしています。貴方もその一人です。 (Kaz中村)

開演 と同時にオールスタンディング。「ジュリー！」

「ビー！」41年ぶりに再結成されたGSタイガース。最終公演1月24日の日本武道館、その2日前、大阪国際会議場大ホールでの復活ライブ公演のチケットをなんとかゲット。ネットで定価の3倍(泣)。還